

プラスチック削減指針策定に係る
市民意見等調査結果

名古屋市

目 次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査方法	1
3	回収状況	1
4	調査結果の見方	1
II	市民アンケート調査結果	2
1	回答者の属性	2
F 1	あなたの年代は（○は1つだけ）	
F 2	あなたのご職業は（○は1つだけ）	2
F 3	お住まいの区は（○は1つだけ）	2
2	調査結果	3
問 1	プラスチックごみによる海洋汚染を始めとした「プラスチック問題」について知っていましたか。（○は1つだけ）	3
問 2	「プラスチック問題」について関心がありますか。（○は1つだけ）	5
問 3	＜問 2 で 1 または 2 と答えた方におたずねします。＞	7
	「プラスチック問題」のうち関心のある内容は何ですか。（○はいくつでも）	7
問 4	「プラスチック問題」の解決に向けて、事業者や行政だけでなく、わたしたちひとりひとりの取り組みが必要だと思いますか。（○は1つだけ）	9
問 5	「プラスチック問題」を意識して取り組んでいることはありますか。（○はいくつでも）	11
問 6	「プラスチック問題」を意識して、今後、取り組みたいことはありますか。（○はいくつでも）	13
問 7	どういう理由があれば「プラスチック問題」を意識した商品を選びますか。（○はいくつでも）	15
問 8	新型コロナウイルス感染症が拡大する前と比べて、プラスチック製品や容器包装を使う機会が増えましたか。（○は1つだけ）	17
問 9	＜問 8 で 1 と答えた方におたずねします。＞	19
	どんな製品や容器包装を使う機会が増えましたか。（○はいくつでも）	19
問 10	「プラスチック問題」の解決に向けて、市民・事業者・行政がそれぞれどのように取り組んだ方がいいと考えますか。ご自由にお書きください。	21
III	事業者アンケート調査結果	31
1	回答者の属性	31
F 2	業種について選択してください（その他の場合は 14（ ）内にご記入ください）。（○は1つだけ）	31
2	調査結果	32
問 1	「プラスチック問題」について関心がありますか。（○は1つだけ）	32
問 2	＜問 1 で 1 または 2 と答えた方におたずねします。＞	33
	「プラスチック問題」のうち関心のある内容は何ですか。（○はいくつでも）	33
問 3	「プラスチック問題」の解決に向けて、市民や行政だけでなく、事業者の取り組みが必要だと思いますか。（○は1つだけ）	34
問 4	「プラスチック問題」を意識して取り組んでいることはありますか。（○はいくつ	

でも)	35
問5 「プラスチック問題」に対する取組みとして予定あるいは検討していることはありますか。(○はいくつでも)	36
問6 「プラスチック問題」への対応に関して課題となっていることはありますか。(○はいくつでも)	37
問7 新型コロナウイルス感染症の拡大によって「プラスチック問題」への取組みに変化はありましたか。(○は1つだけ)	38
問8 「プラスチック問題」の解決に向けて、市民、事業者、行政がそれぞれどのように取り組んだ方がいいと考えますか。ご自由にお書きください。	39
IV 資料（調査票）	45

I 調査概要

1 調査の目的

プラスチックごみによる海洋汚染が世界的に問題となる中、本市においても生態系の保全、地球温暖化対策、資源循環など総合的な視点のもとプラスチック対策を進めていく必要があり、行政だけでなく市民・事業者など様々な立場から主体的に取り組む必要がある。

本市では、市民・事業者がプラスチック対策に取り組む際に拠りどころとなる指針の策定を進めており、本調査で市民・事業者の意識等を集約し、指針策定に活用する。

2 調査方法

(1) 市民アンケート

- ① 調査対象 名古屋市内に居住する満 18 歳以上の市民 2,000 人
- ② 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- ③ 調査方法 郵送配布、郵送・ウェブ回収
- ④ 調査期間 令和 3 年 3 月 17 日～10 月 8 日

(2) 事業者アンケート

- ① 調査対象 なごや SDGs グリーンパートナーズに登録する事業者 1,006 事業者
愛知中小企業家同友会加入の名古屋市内事業者 2,048 事業者
- ② 調査方法 電子メールによる調査、回収
- ③ 調査期間 令和 3 年 9 月 13 日～10 月 1 日（なごや SDGs グリーンパートナーズ）
令和 4 年 7 月 8 日～7 月 17 日（愛知中小企業家同友会）

3 回収状況

	標本数	有効回収標本数	有効回収率 (%)
(1) 市民アンケート	2,000	1,121	56.1%
(2) 事業者アンケート	3,054	398	13.0%

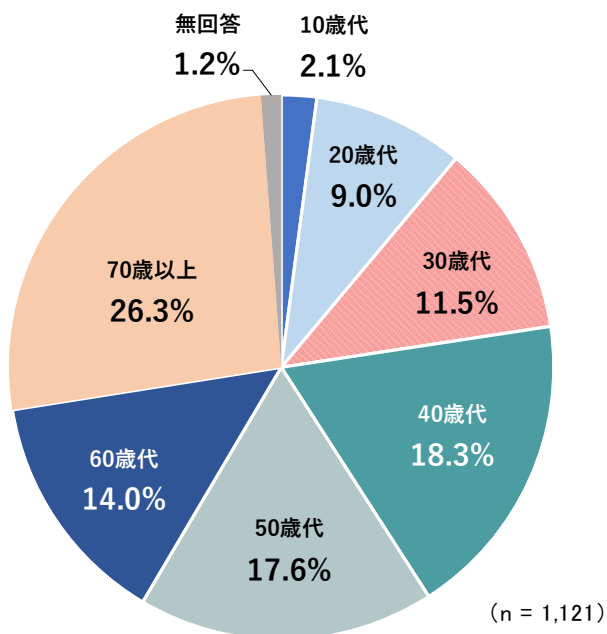
4 調査結果の見方

- ① 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、合計が 100%にならないことがある。
- ② 基数となるべき実数は「n」（件数）として掲載した。したがって比率は、n を 100%として算出している。
- ③ 複数回答が可能な質問では、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をするため、各項目の比率の合計は通常 100%を超える。
- ④ 本報告書のグラフ・表内の回答選択肢は、省略をして掲載している場合がある。

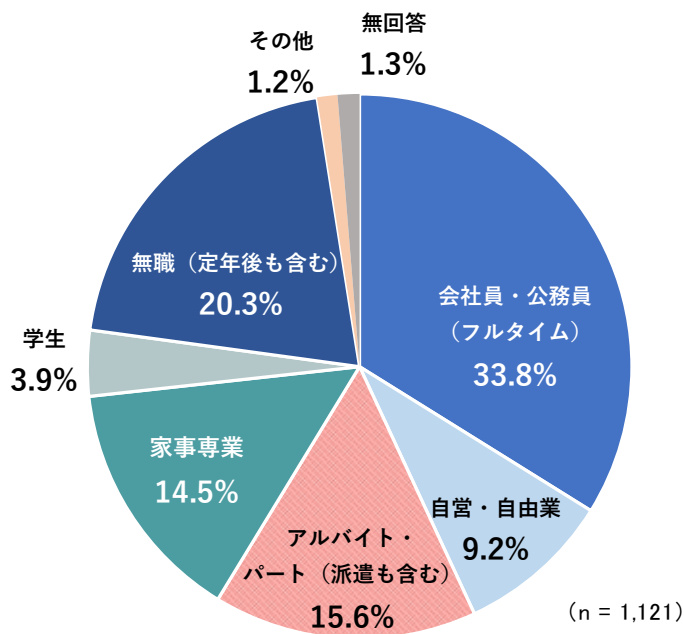
Ⅱ 市民アンケート調査結果

1 回答者の属性

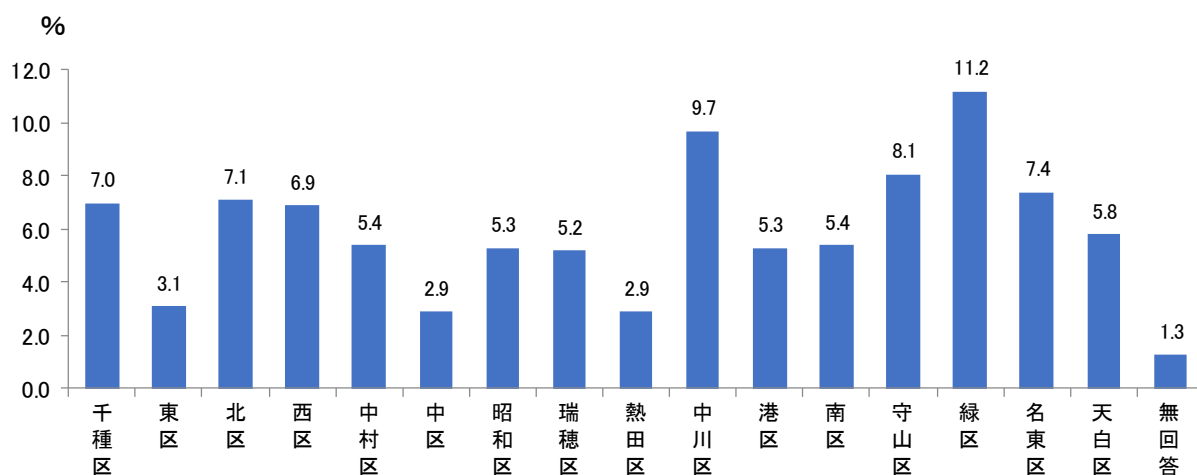
F1 あなたの年代は（○は1つだけ）



F2 あなたのご職業は（○は1つだけ）



F3 お住まいの区は（○は1つだけ）

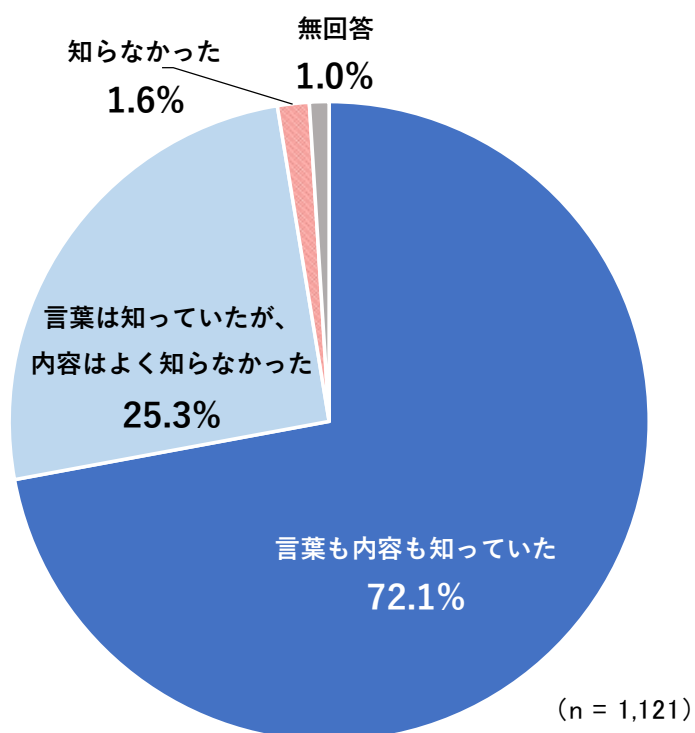


2 調査結果

問1 プラスチックごみによる海洋汚染を始めとした「プラスチック問題」について知っていましたか。(〇は1つだけ)

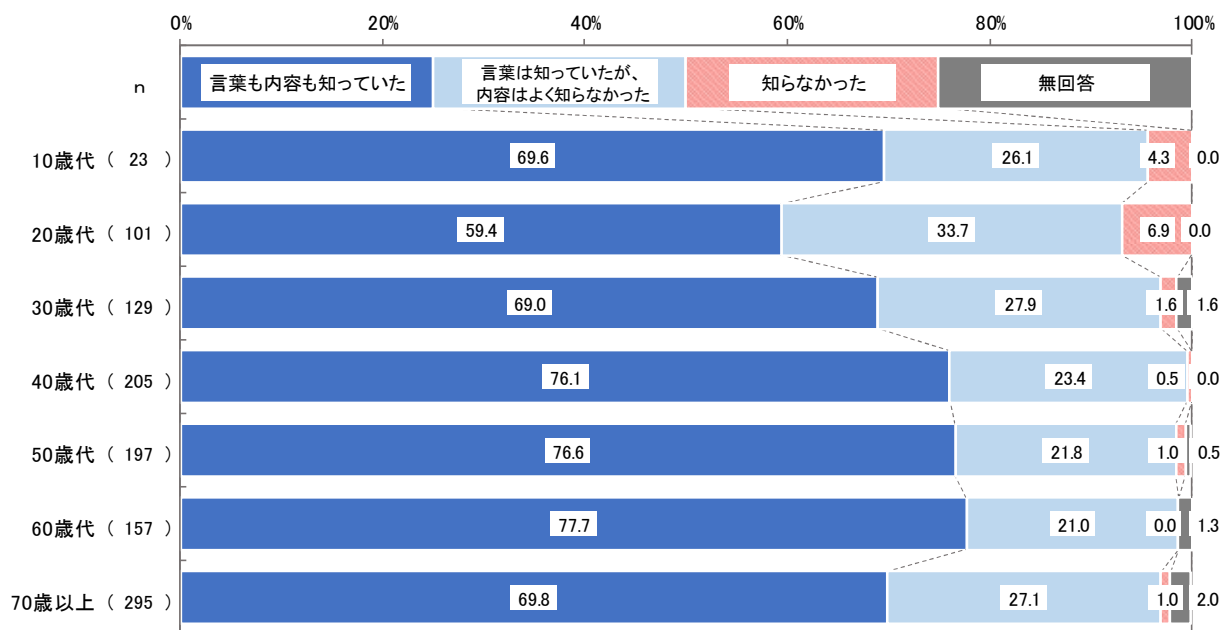
【全 体】

プラスチック問題について、「言葉も内容も知っていた」が72.1%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが、内容はよく知らなかった」が25.3%、「知らなかった」が1.6%となっている。



【年代別】

年代別にみると、各年代において「言葉も内容も知っていた」の割合が最も高く、そのうち40歳代、50歳代、60歳代が75%以上と高くなっている。

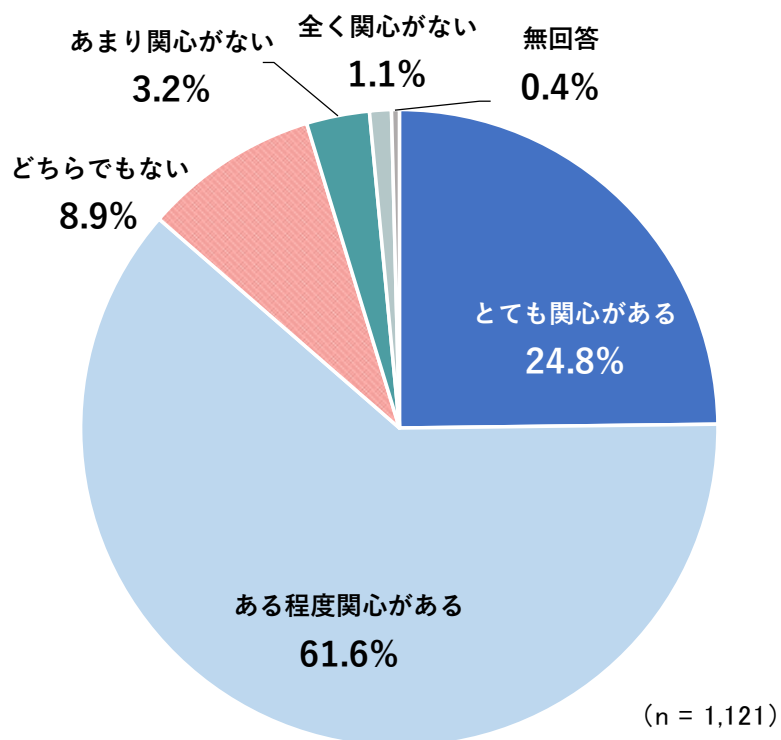


問2 「プラスチック問題」について関心がありますか。(〇は1つだけ)

【全 体】

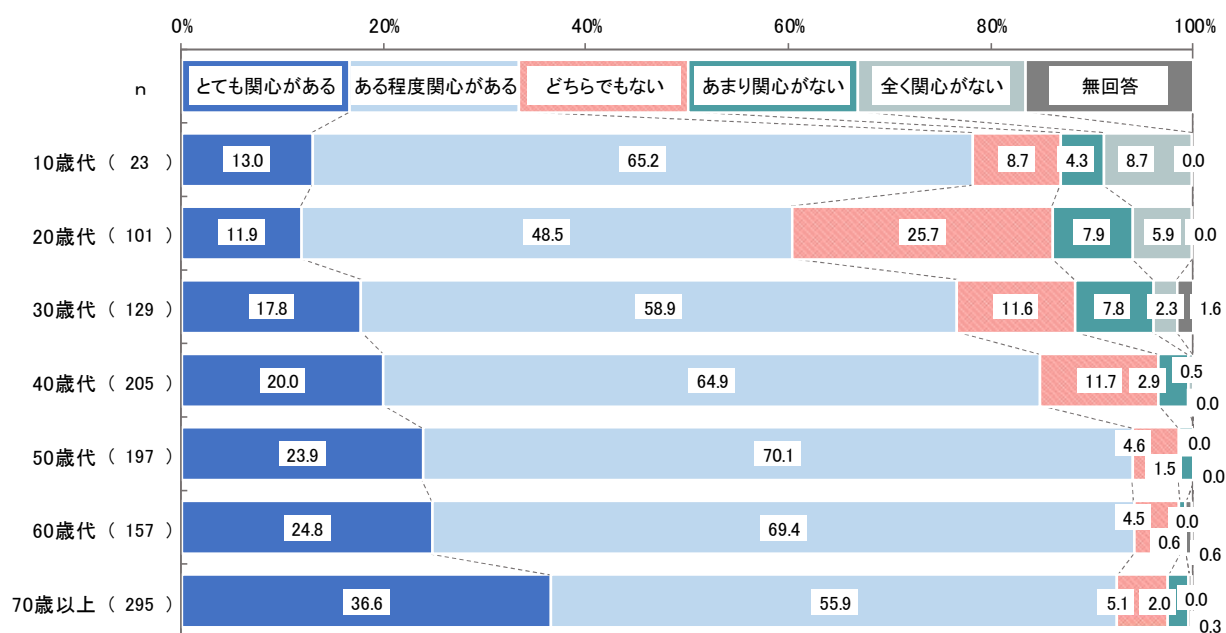
プラスチック問題について、「ある程度関心がある」が 61.6%と最も高く、次いで「とても関心がある」が 24.8%、「どちらでもない」が 8.9%となっている。

「とても関心がある」(24.8%)と「ある程度関心がある」(61.6%)を合わせた『関心がある』は 86.4%となっている。



【年代別】

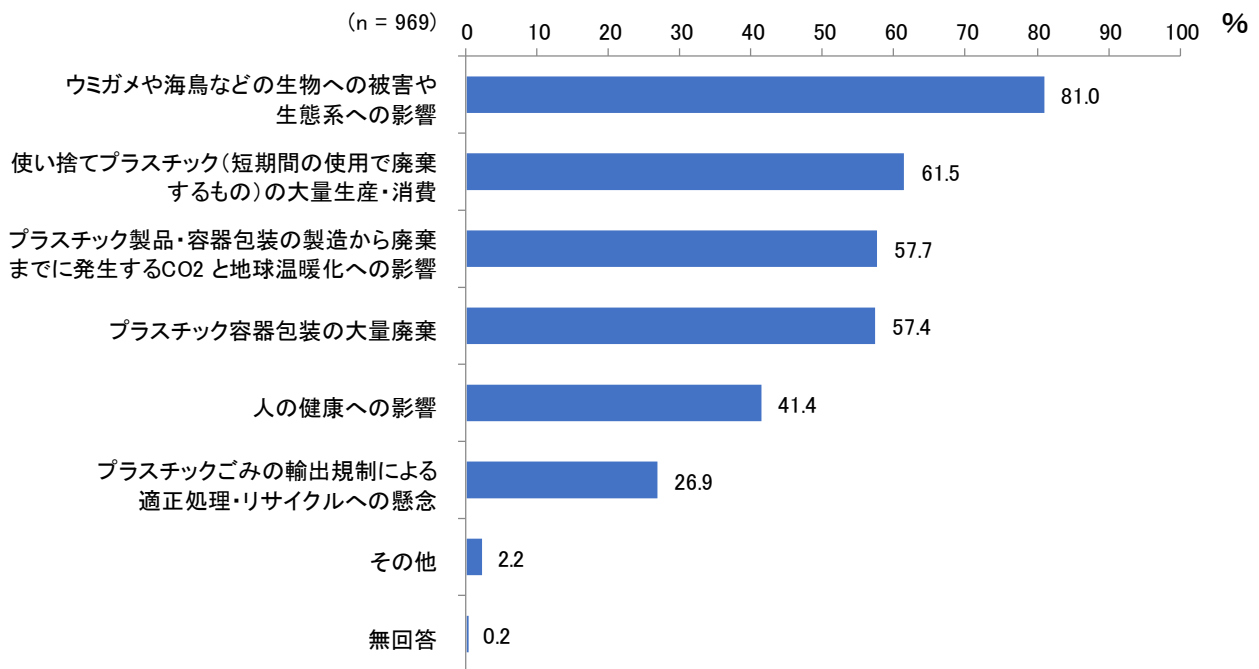
年代別にみると、『関心がある』の割合が、50歳代、60歳代、70歳以上で90%を超え、高くなっている。また、20歳代では、『関心がある』の割合が60.4%と他の年代に比べて低くなっている。



問3 <問2で1または2と答えた方におたずねします。>
 「プラスチック問題」のうち関心のある内容は何ですか。(〇はいくつでも)

【全 体】

関心のある内容は、「ウミガメや海鳥などの生物への被害や生態系への影響」が 81.0%と最も高く、次いで、「使い捨てプラスチック（短期間の使用で廃棄するもの）の大量生産・消費」が 61.5%、「プラスチック製品・容器包装の製造から廃棄までに発生するCO2 と地球温暖化への影響」が 57.7%となっている。



※回答者＝問2で「1 とても関心がある」「2 ある程度関心がある」とお答えの方。

【年代別】

年代別にみると、各年代において「ウミガメや海鳥などの生物への被害や生態系への影響」の割合が最も高く、そのうち10歳代が94.4%と他の年代に比べて高くなっている。

(%)

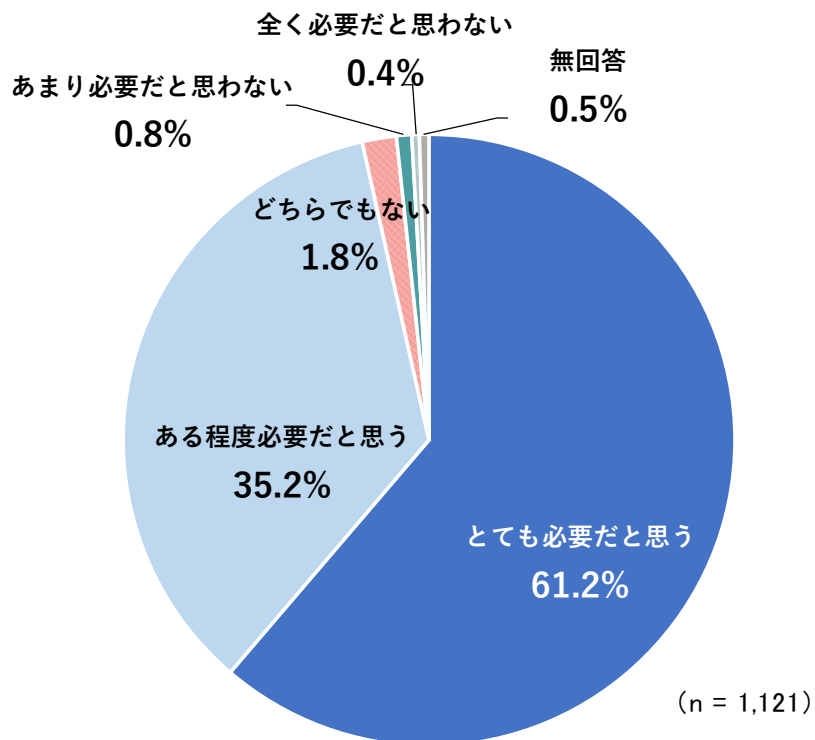
年代	n	ウミガメや海鳥などの生物への被害や生態系への影響	もの（短期間の大量生産・消費する）	使い捨てプラスチック	への影響	生ずる影響	装の製造から廃棄品・容器包装の発生	大量プラスチック容器包装の廃棄	人の健康への影響	プラスチックごみの処理・輸送の懸念	その他	無回答
10歳代（ 18 ）		94.4	61.1	61.1	72.2	27.8	16.7	0.0	0.0			
20歳代（ 61 ）		80.3	57.4	45.9	47.5	21.3	26.2	0.0	0.0			
30歳代（ 99 ）		80.8	60.6	61.6	53.5	43.4	29.3	2.0	0.0			
40歳代（ 174 ）		78.2	63.2	54.0	52.9	42.5	23.0	5.2	0.6			
50歳代（ 185 ）		83.8	58.4	53.5	58.4	41.1	27.0	3.2	0.0			
60歳代（ 148 ）		82.4	59.5	62.2	58.8	38.5	23.6	1.4	0.0			
70歳以上（ 273 ）		79.5	65.6	61.2	61.5	46.9	30.8	0.7	0.4			

問4 「プラスチック問題」の解決に向けて、事業者や行政だけでなく、わたしたちひとりひとりの取組みが必要だと思いますか。(〇は1つだけ)

【全 体】

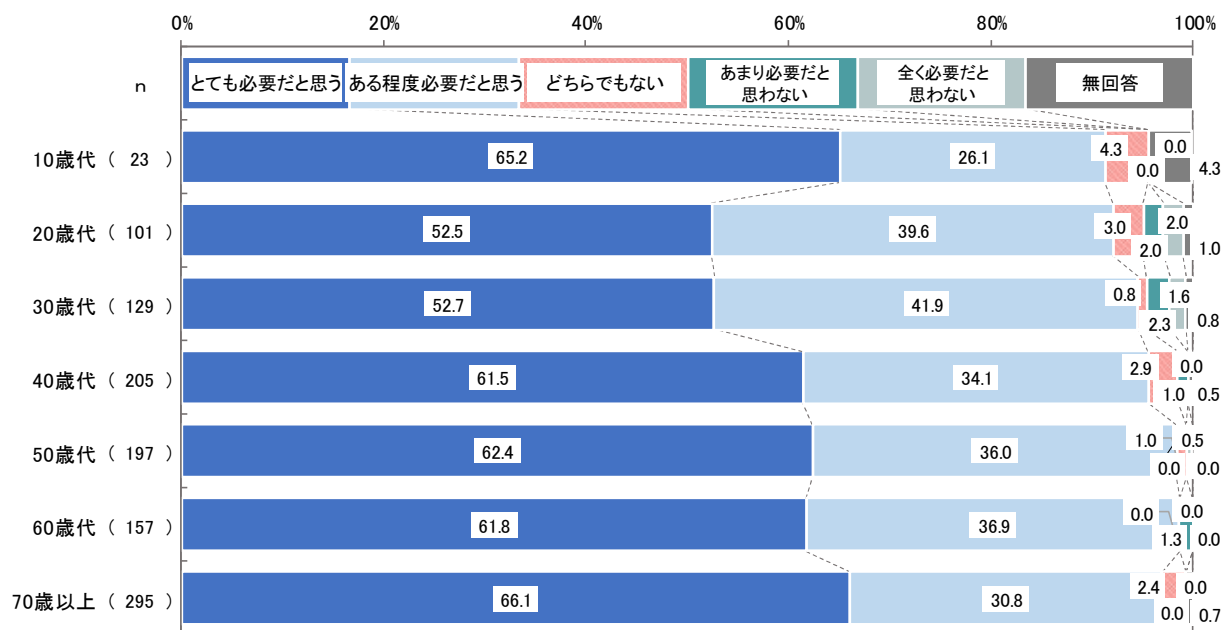
ひとりひとりの取組みについて、「とても必要だと思う」が61.2%と最も高く、次いで「ある程度必要だと思う」が35.2%、「どちらでもない」が1.8%となっている。

「とても必要だと思う」(61.2%)と「ある程度必要だと思う」(35.2%)を合わせた『必要だと思う』は96.4%となっている。



【年代別】

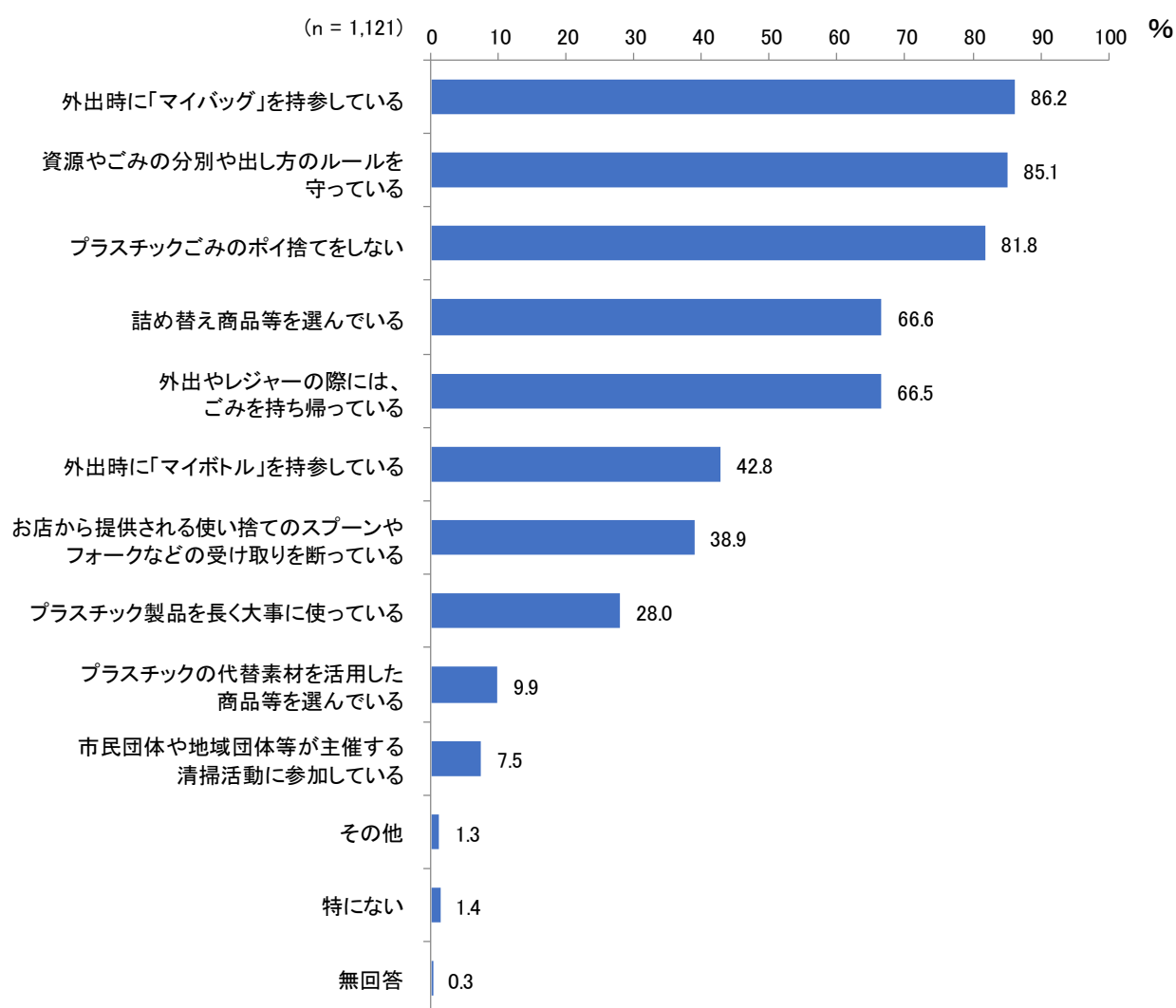
年代別にみると、『必要だと思う』の割合が、60歳代で98.7%と最も高く、次いで50歳代で98.4%、70歳以上が96.9%となっている。



問5 「プラスチック問題」を意識して取り組んでいることはありますか。
(〇はいくつでも)

【全 体】

意識して取り組んでいることは、「外出時に「マイバッグ」を持参している」が 86.2%と最も高く、次いで、「資源やごみの分別や出し方のルールを守っている」が 85.1%、「プラスチックごみのポイ捨てをしない」が 81.8%となっている。



【年代別】

年代別にみると、20 歳代、30 歳代、50 歳代は「外出時に「マイバッグ」を持参している」の割合が最も高く、そのうち 50 歳代が 90.9%と最も高くなっている。40 歳代、60 歳代、70 歳以上は「資源やごみの分別や出し方のルールを守っている」が、10 歳代は「プラスチックごみのポイ捨てをしない」の割合が最も高くなっている。

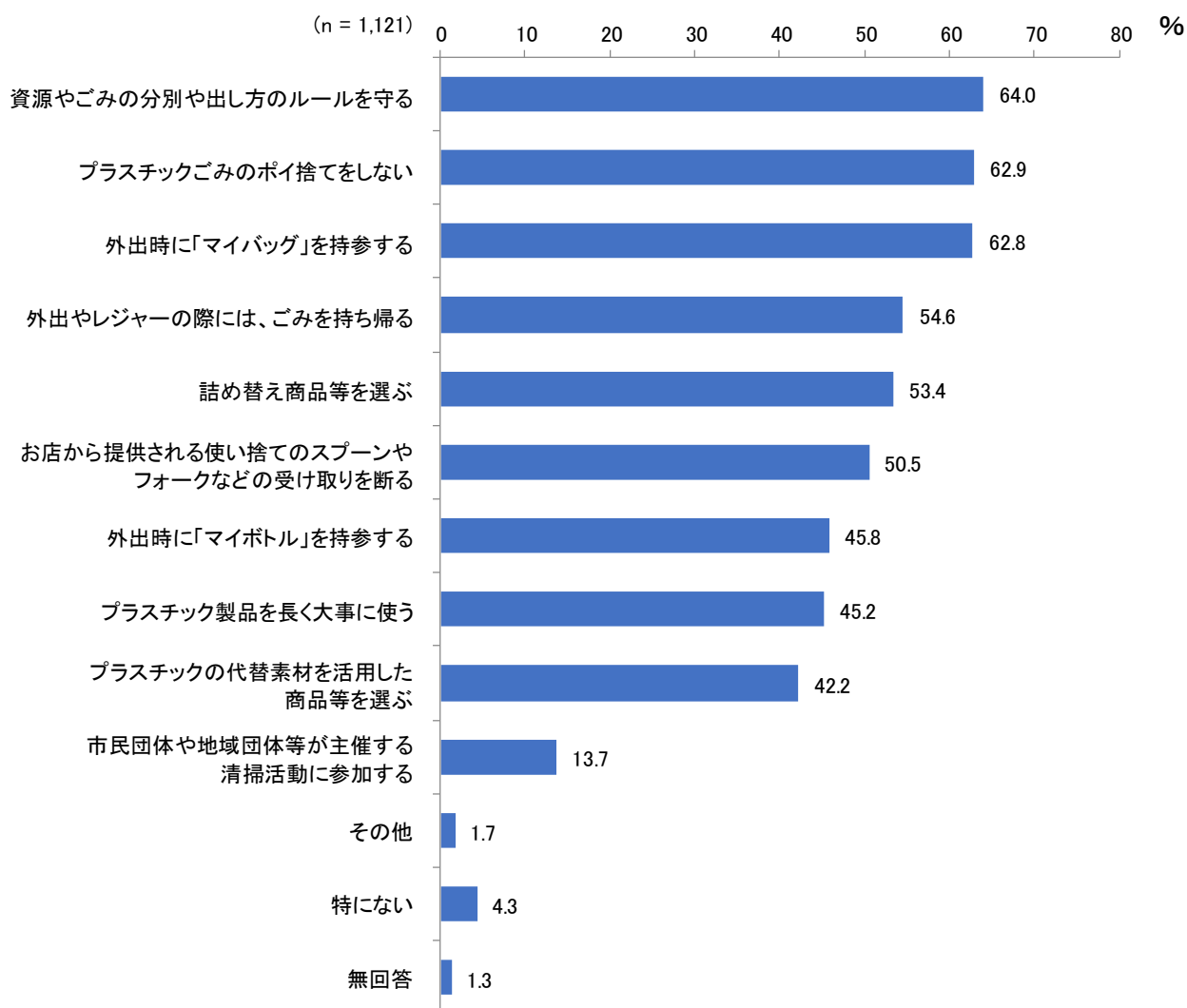
(%)

年代	n	外出時に「マイバッグ」を持参している	資源やごみの分別や出し方のルールを守っている	プラスチックごみのポイ捨てをしない	詰め替え商品等を選んでいる	外出持ち帰りの際には、ごみを持ち帰っている	外出時に「マイボトル」を持参している	お店から提供される使い捨ての受け取りを断っている	プラスチック製品を長く大事に使用している	プラスチック商品の代替素材を活用している	市民団体や地域団体に参加し、主催する清掃活動に参加している	その他	特になし	無回答
10歳代 (23)		73.9	73.9	78.3	65.2	60.9	34.8	8.7	34.8	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0
20歳代 (101)		76.2	64.4	73.3	61.4	61.4	35.6	20.8	13.9	5.0	3.0	1.0	2.0	1.0
30歳代 (129)		86.8	74.4	78.3	76.7	70.5	45.7	31.8	21.7	10.9	4.7	0.0	2.3	0.8
40歳代 (205)		86.3	86.8	80.5	74.1	63.4	40.0	42.0	23.4	11.2	4.4	1.5	2.0	0.0
50歳代 (197)		90.9	85.8	83.2	77.7	67.0	41.6	48.2	28.4	8.6	5.1	0.5	0.5	0.0
60歳代 (157)		89.2	92.4	82.8	63.1	69.4	40.8	38.9	24.2	8.3	14.0	2.5	1.9	0.0
70歳以上 (295)		86.1	92.2	86.1	53.9	66.4	47.8	43.1	39.7	12.2	10.5	2.0	1.0	0.3

問6 「プラスチック問題」を意識して、今後、取り組みたいことはありますか。
(〇はいくつでも)

【全 体】

今後、取り組みたいことは、「資源やごみの分別や出し方のルールを守る」が64.0%と最も高く、次いで、「プラスチックごみのポイ捨てをしない」が62.9%、「外出時に「マイバッグ」を持参する」が62.8%となっている。



【年代別】

年代別にみると、20 歳代、60 歳代、70 歳以上は「資源やごみの分別や出し方のルールを守る」が、30 歳代、50 歳代は「プラスチックごみのポイ捨てをしない」が、40 歳代は「外出時に「マイバッグ」を持参する」の割合が最も高くなっている。また、10 歳代では、「お店から提供される使い捨てのスプーンやフォークなどの受け取りを断る」の割合が最も高くなっている。

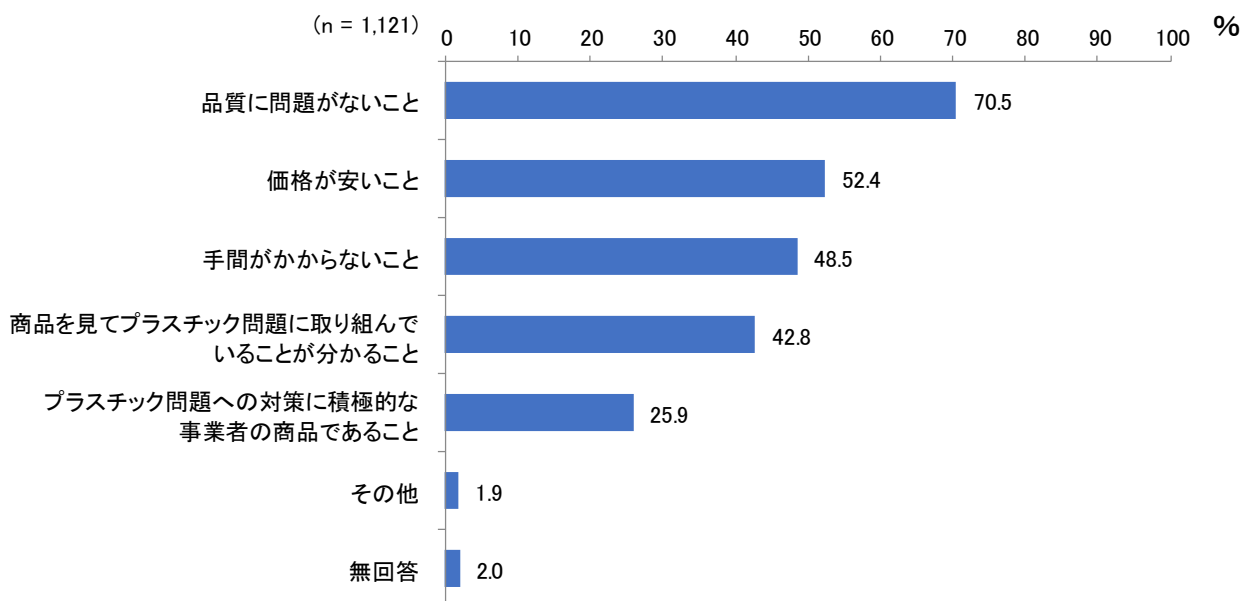
(%)

年代	n	の資源やごみの分別や出し方を守る	プラスチックごみのポイ捨てをしない	外出時に「マイバッグ」を持参する	外出やレジャーの際には、ごみを持ち帰る	詰め替え商品等を選ぶ	お店から提供される使い捨てのスプーンやフォークなどの受け取りを断る	外出時に「マイボトル」を持参する	プラスチック製品を長く大事に使う	プラスチック商品の代替素材を活用した商品を選ぶ	市民団体や地域に団体参加等が主とする清掃活動	その他	特になし	無回答
10歳代 (23)		39.1	43.5	34.8	39.1	30.4	56.5	47.8	47.8	43.5	43.5	0.0	0.0	0.0
20歳代 (101)		38.6	34.7	36.6	32.7	32.7	33.7	27.7	33.7	32.7	7.9	3.0	10.9	2.0
30歳代 (129)		52.7	55.0	54.3	48.1	53.5	45.7	43.4	46.5	41.9	13.2	0.8	7.0	0.8
40歳代 (205)		62.4	61.5	63.9	57.6	57.6	49.3	46.3	47.8	46.3	14.6	1.0	5.9	1.0
50歳代 (197)		62.9	63.5	61.9	50.8	59.9	50.3	49.2	47.2	49.2	9.6	2.0	1.5	1.5
60歳代 (157)		70.1	67.5	66.9	61.1	54.8	56.7	42.0	40.8	39.5	17.2	1.3	4.5	0.6
70歳以上 (295)		78.0	75.6	73.9	62.7	54.6	55.9	51.9	47.8	40.0	13.9	2.4	2.0	2.0

問7 どういう理由があれば「プラスチック問題」を意識した商品を選びますか。
(〇はいくつでも)

【全 体】

商品を選ぶ理由について、「品質に問題がないこと」が70.5%と最も高く、次いで、「価格が安いこと」が52.4%、「手間がかからないこと」が48.5%となっている。



【年代別】

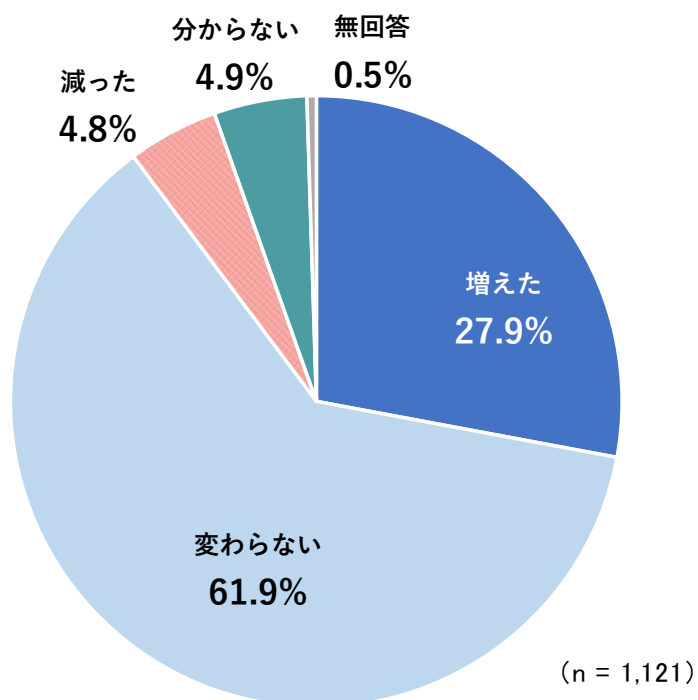
年代別にみると、30 歳代から 70 歳以上は「品質に問題がないこと」が、10 歳代、20 歳代では「価格が安いこと」の割合が最も高くなっている。

年代	n	(%)						無回答
		品質に問題がないこと	価格が安いこと	手間がかからないこと	商品を見つけて組み合わせやすいこと	商品に積極的な事業者への対策	その他	
10歳代 (23)		69.6	73.9	52.2	34.8	13.0	0.0	0.0
20歳代 (101)		64.4	66.3	55.4	32.7	12.9	1.0	1.0
30歳代 (129)		73.6	68.2	60.5	34.1	18.6	0.8	0.0
40歳代 (205)		69.3	54.1	52.2	42.4	24.9	3.4	0.0
50歳代 (197)		69.5	56.3	50.8	41.1	24.4	1.5	1.5
60歳代 (157)		75.2	49.0	49.7	45.9	26.1	1.3	1.9
70歳以上 (295)		69.8	36.6	34.9	50.5	35.9	2.4	5.1

問8 新型コロナウイルス感染症が拡大する前と比べて、プラスチック製品や容器包装を使う機会が増えましたか。(〇は1つだけ)

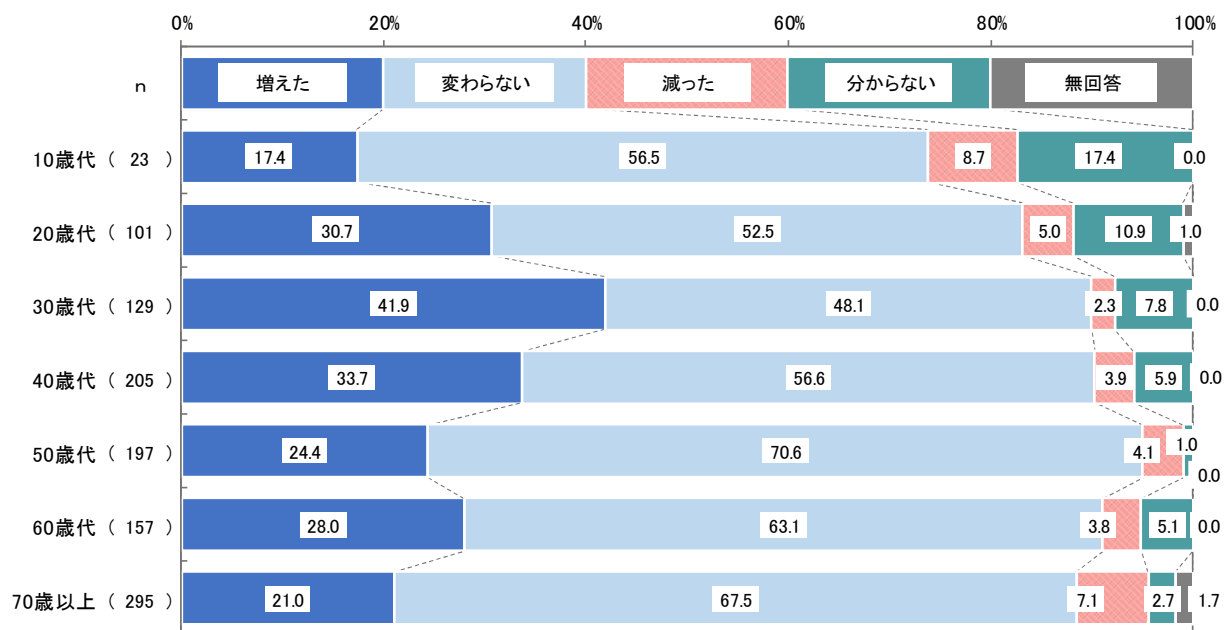
【全 体】

プラスチック製品や容器包装を使う機会は、「変わらない」が 61.9%と最も高く、次いで、「増えた」が 27.9%、「分からない」が 4.9%となっている。



【年代別】

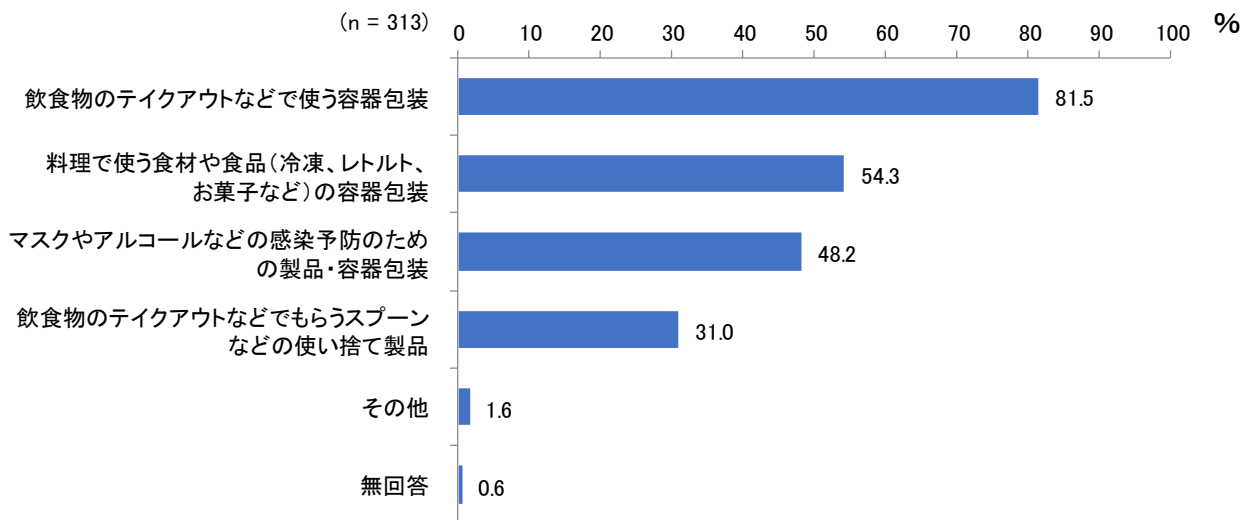
地区別にみると、各年代において「変わらない」の割合が最も高く、そのうち50歳代が70.6%と他の年代に比べて高くなっている。「増えた」では、30歳代が41.9%と最も高くなっている。



問9 <問8で1と答えた方におたずねします。>
 どんな製品や容器包装を使う機会が増えましたか。(〇はいくつでも)

【全 体】

使う機会の増えた製品や容器包装は、「飲食物のテイクアウトなどで使う容器包装」が81.5%と最も高く、次いで、「料理で使う食材や食品（冷凍、レトルト、お菓子など）の容器包装」が54.3%、「マスクやアルコールなどの感染予防のための製品・容器包装」が48.2%となっている。



※回答者＝問8で「1 増えた」とお答えの方。

【年代別】

年代別にみると、各年代において「飲食物のテイクアウトなどで使う容器包装」の割合が高く、そのうち20歳代が87.1%と他の年代に比べて高くなっている。

年代	n	(%)				
		飲食物のテイクアウト	子（料理で使う食材やお菓など）の容器包装	品のマスクやアルコールの製など	の使い捨て製品	その他
10歳代（4）		50.0	50.0	75.0	25.0	0.0
20歳代（31）		87.1	38.7	45.2	54.8	3.2
30歳代（54）		83.3	51.9	55.6	37.0	1.9
40歳代（69）		85.5	59.4	46.4	30.4	2.9
50歳代（48）		72.9	54.2	45.8	25.0	0.0
60歳代（44）		84.1	52.3	45.5	25.0	0.0
70歳以上（62）		79.0	61.3	46.8	24.2	1.6

問 10 「プラスチック問題」の解決に向けて、市民・事業者・行政がそれぞれどのように取り組んだ方がいいと考えますか。ご自由にお書きください。

上記の設問について市民の方にご意見をお聞きしたところ、526 件の回答が得られ、その中で複数の項目に関する意見を分割して整理したため、延べ件数は 1007 件となりました。内容を同じくする意見をいくつかの類型に分類し、主な意見として下記の通りに集約しました。内容については、意見の主旨を損なわないように一部要約したものもあります。

【1】市民の取組みについて（224 件）

1. 一人ひとりが問題に関心を持ち、意識して取り組みを行っていく（67 件）

- ・市民は、プラスチック問題に関する意識が足りないのもっと知ろうとすることが大切だと考える。（10 歳代）
- ・プラスチック問題についての正しい知識を身につけ、行動に移していく。（20 歳代）
- ・プラスチック問題に危機感を持って自発的に行動する。（40 歳代）
- ・個人でできる事は、プラスチック問題に共感して少しでも取り組んでいきたいと思う。（50 歳代）
- ・常に意識して生活するよう市民ひとりひとりがまず心がける必要がある。（70 歳以上）

2. ごみの分別ルールを守り、資源回収に協力する（64 件）

- ・解決に向けて、市民は分別等簡単にできるルールをしっかりと守る。（10 歳代）
- ・できるだけ再利用できるように、分別して、ごみを出している。（40 歳代）
- ・市民はごみの分別や出し方のルールをきちんと守る。（70 歳以上）
- ・スーパーマーケットの回収ボックスに、分けて入れる。食品トレイと透明容器をそれぞれ分け、ペットボトルはプラキャップを外して、ラベルも取り除く。（70 歳以上）

3. 使い捨てプラスチックを買わない・受け取らない、ごみを減らす工夫をする（32 件）

- ・消費者も、なるべくプラスチックごみが出ない商品を選びたい。（20 歳代）
- ・使い捨てスプーン、フォーク、ストローはもらわない。（50 歳代）
- ・ごみになるプラスチックを購入しないことを意識する。プラスチックごみを減らす努力をする。（60 歳代）

4. ごみのポイ捨てはせず、外出やレジャーの際には持ち帰る（25 件）

- ・海釣りしてる時に、ビニール袋などを飛ばしてしまうこともあるので、しっかりと括り付けるなど気を配る。（40 歳代）
- ・市民はプラスチックごみのポイ捨てをせず、外出やレジャーの際には、ごみを持ち帰ることを徹底すべきである。（50 歳代）
- ・プラスチックのポイ捨てをなくす事。（60 歳代）

5. マイバッグ、マイボトルを持参する（15 件）

- ・マイバックを持ち歩き、レジ袋をできるだけ貰わないようにすること。(20 歳代)
- ・ドリンクなどはペットボトル飲料を買わず、水筒を持参している。(40 歳代)
- ・マイバッグ、マイボトルを使うようにする。(50 歳代)

6. プラスチック製品を長く大事に使う（11 件）

- ・モノを大切に使うなど、身の回りのもったいないを意識すること。(40 歳代)
- ・私はリユースを心掛けている。一度使ったトレイやビニール袋も洗ってまた使っている。(60 歳代)
- ・直して使える物は再使用する。(60 歳代)

7. 容器を持参する（5 件）

- ・持ち帰りの容器を出して食べ物をつめてもらう。(20 歳代)
- ・容器などに関しては、容器を持参して食品を購入できる店や詰替可能な製品を積極的に購入している。(70 歳以上)

8. 環境配慮商品を選ぶ（4 件）

- ・環境にやさしい製品を選んで購入すること。(30 歳代)
- ・製品を選ぶ際は、包装素材を意識して買い物するようにしたい。(30 歳代)

9. 地域活動をする（1 件）

【2】事業者の取組みについて（316 件）

1. 安くて安全かつ環境にやさしいプラスチック製品、代替製品の開発（82 件）

- ・生分解性プラスチックを利用した製品の製造を進めることが必要だと考える。（20 歳代）
- ・市民の方に負担が少なく、利便性の高い製品があればより使用したい。（30 歳代）
- ・事業者はプラスチックに代わる代替の開発。（40 歳代）
- ・丈夫な紙や植物由来のプラスチックが安価にできれば地球環境が良くなると思う。（60 歳代）
- ・事業者の方は、消費者が、安全安心、値段も安すぎず、大切に使おうと思わせる商品を作ってほしい。（70 歳以上）

2. 過剰包装を見直す（46 件）

- ・過剰包装をやめる。（20 歳代）
- ・容器包装など細かくしすぎで、見ためばかりでとてもムダにしている。（30 歳代）
- ・個包装が多いと思う。大袋に入っているもよいものもある。（40 歳代）
- ・事業者は、プラスチックごみの出ない包装を心がける。（60 歳代）
- ・食品、食材の過剰包装の減少に取り組んでほしい。（70 歳以上）

3. プラスチック容器（食品トレイ、テイクアウト容器等）を削減する（42 件）

- ・お店のテイクアウトの容器や、売り物の梱包にプラスチックを使うのを減らした方がいいと思う。（20 歳代）
- ・テイクアウトを利用するとどうしてもプラスチックが出てしまうので、どうにかできないか。（20 歳代）
- ・スーパーで肉、野菜などのパック、トレイをなくすようにする。（50 歳代）
- ・食品（肉、魚など）を買うと必ずプラスチックがついてくる。これをなくす事はできないものか、といつも考えながら捨てている。（70 歳以上）

4. プラスチック以外の代替素材（紙製品等）を利用して商品を提供する（36 件）

- ・ストローなどを紙製品に代えられるものは代える。（20 歳代）
- ・紙で代用できるものは紙包装にする。（50 歳代）
- ・植物由来の紙やプラスチックを使用する努力が必要。（60 歳代）
- ・プラスチック以外の物、紙など（ビン）とか使うといいと思う。（70 歳以上）

5. 量り売りや持参したマイ容器での販売を促進する（23 件）

- ・テイクアウトなど自分でタッパーを持参できるといいと思う。（40 歳代）
- ・家にあるタッパーが活用できれば、お店から出るプラスチックごみが減るのではないかと。（50 歳代）
- ・昔のように、量り売りで買えるようになったりするといいと思う。（70 歳以上）

6. リサイクル、リユースしやすい商品の開発や仕組みを整える（20 件）

- ・事業者は、市民が詰め替え商品やリユース商品を選ぶインセンティブを作る。（価格を安くする。ポイントが貯まるなど）（20 歳代）
- ・リサイクルの為の洗浄が簡単にできる商品の設計をする。（60 歳代）
- ・物を作る生産社、会社の段階でリサイクルを意識した製品に変えていく。（70 歳以上）

7. プラスチックの生産・使用を削減する（19 件）

- ・難しいかもしれないが、プラスチックの生産を減らすのが 1 番ではないかと思う。（30 歳代）
- ・いかに各企業がプラスチックを使用した製品を減らす事ができるかだと思う。（40 歳代）
- ・プラスチックそのものの減産に取り組む。（60 歳代）

8. プラスチックのリサイクル方法、処理方法の開発（14 件）

- ・バクテリア等によるプラスチックの処理方法の開発（より安価、より短期間で）。（60 歳代）
- ・回収した容器のリサイクルを製品ではなく燃料としてリサイクルできるように研究を進めてほしい。（60 歳代）
- ・事業者はプラスチック製品のリサイクルができるように考えることが必要だと思う。（60 歳代）

9. 消費者にプラスチック問題を発信、代替製品についてのアピールをする（13 件）

- ・事業者は、プラスチック削減への取り組みを商品に表示するなど、啓蒙活動にも取り組む。（40 歳代）
- ・プラスチックの代替素材である事がもっとわかりやすくアピールしてくれると選びやすくなると思う。（50 歳代）
- ・市民に、生産提供する商品・製品に対してプラスチック問題を意識させるよう工夫してほしい。（60 歳代）

10. ペットボトルの削減に取り組む（10 件）

- ・ペットボトルの廃止や、有料で回収やリユースの促進などを推進してほしい。（40 歳代）
- ・企業を中心に、ペットボトル等の使用を減らすことに働きかけるなどマイボトルの持参を指導する。（50 歳代）

11. スプーンの有料化を検討する（8 件）

- ・コンビニ・スーパーなどプラスチックスプーンなど有料にする。（30 歳代）
- ・マイバッグが定着したように、マイ食器（スプーン、フォーク、はし、ストロー）も定着してくれば、使い捨て製品が減ると思う。（50 歳代）

12. 紙の袋の廃止や有料化は違うのではないかと（2 件）

13. 回収に補助金を使用する（1 件）

【3】行政の取組みについて（435 件）

1. 市民にプラスチック問題の啓発活動、情報発信を行う（77 件）

- ・行政は、若者の興味を引くイベントや広報を行うべきだと思う。（10 歳代）
- ・市民に正しいプラスチック問題についての情報を与えること。（20 歳代）
- ・私たちの身近で発生しているプラスチック問題があまり「見える化」されておらず、理解されていないのではないかな。（30 歳代）
- ・このようなアンケートにより、プラスチック問題を改めて意識することができた。まずいろんなレベルでプラスチック問題を発信することが大切だと思う。（50 歳代）
- ・行政もっと問題提起をする機会を多く設けてほしい。皆が関心を持てるように働きかけるようにする事が大事だと思う。（60 歳代）
- ・近頃 TV でも SDGs の事を良く見るようになった。プラスチック問題も TV で 1 分でも PR した方がいいのでは。（70 歳以上）

2. 行政がリードして、プラスチック問題に積極的に取り組む、効果的な仕組み作りをする（37 件）

- ・まずは行政、事業者からの呼びかけや取組みを積極的にすること。個人が取り組みやすい環境を整えることも大切だと思う。（30 歳代）
- ・行政が効果的（取り組み甲斐のある）な政策を決めて施行すれば、より参加する人は増えると思う。（40 歳代）
- ・ある程度の方向性を行政が示した上で、実務的な事は事業者任せ、最終的には市民がそれを取捨選択するような形が良いのではないかな。（40 歳代）
- ・一般市民はほとんど無関心であると思う。プラスチック問題に積極的なメーカーをいかに増やしていくかがポイントだと思う。行政がもっと積極的に動かなければ根本的に解決する事は無理だと思う。（70 歳以上）

3. プラスチック問題に取り組む事業者への評価や援助、助成の仕組みを作る（30 件）

- ・事業者が具体的な取り組みを行えるように（財務的な観点で）、行政のフォローや補助が必要だと思う。（20 歳代）
- ・プラスチックのリサイクル業者や処理業者、処理機能を高める研究をしている業者に助成金等の制度をつくる。すでに行っているならば拡充するなどを行う。（20 歳代）
- ・プラスチック問題について、積極的に取り組んでいる企業に対して国が補助金を出すなどして促す事が大事かと。（40 歳代）
- ・環境保全の為エコ包装を徹底している店には、行政が認定証などを発行し市民にも周知を図る。（70 歳以上）

4. プラスチックの製造や販売・使用への法的規制、削減に向けた指導や法整備をする (29 件)

- ・マイバックなどが良い例ですが、やはり義務化（有料化）などしなければなかなか関心のない方は取り組まないと思う。(30 歳代)
- ・他国のように、プラスチックの使用について国で規制をかけたりすることも大事だと思う。(40 歳代)
- ・簡易な包装を企業が進めていくようになる施策や法整備を行っていく必要がある。(50 歳代)
- ・法律や条例で製造、販売の規制。(70 歳以上)

5. 市民にリサイクルや分別方法の周知を徹底する (27 件)

- ・各自治体のごみ分別方法を分かり易く記載した POP も一緒に設置する。分別の方法を意識させる。(20 歳代)
- ・プラスチック表記のあるものでも中には回収してもらえないものもあったり、プラスチックでも可燃ごみで出さなくちゃいけない物もあったりしてわかりにくいので、もっとわかりやすくしてほしい。(30 歳代)
- ・まずは身近なごみ（プラ、ペット）の捨て方を徹底することが必要。(60 歳代)
- ・分別ごみ搬出ルール of 周知徹底 PR。転入者等に対する、行政窓口での説明（搬出曜日など）。(70 歳以上)

6. リサイクル活動を推進する (27 件)

- ・消費を減らす対策ではなく、どれだけリサイクルができるようにするかが大事だと思う。(40 歳代)
- ・稼働時に環境負担の少ない巨大リサイクル施設を作る。(40 歳代)
- ・確実な回収と燃料として再利用。(50 歳代)
- ・行政は、プラスチックごみの削減に向けて、効率的に回収や処理を行う。(50 歳代)

7. 協力してくれた市民に特典やポイント等で還元できる仕組み作り (25 件)

- ・マイバッグ持参するとポイント付与などの特典を付けるなどの工夫をする。(20 歳代)
- ・市民が、マイバックやマイボトル・スプーンを持参している際に、公共料金がポイントで支払える仕組み作り。(40 歳代)
- ・プラスチックのリサイクルをしたらポイントがもらえ、支払いに使用できるなどの取組みをしてみてもいい。(50 歳代)
- ・マイバッグや詰替商品を選ぶなど、プラスチック問題に取り組むお得感があれば嬉しい。(60 歳代)

8. 学校等で子どもたちへの教育を推進する（18 件）

- ・子どもたちにもプラスチック問題について分かりやすく関心を持ってもらえるよう取り組んでいった方がいいと思う。(40 歳代)
- ・学校でごみの分別の必要性を教え、子どもの頃から分別の大切さを意識させる。(50 歳代)
- ・環境問題やプラスチックごみ問題に対する理解を深める為に、学校など教育機関との連携によるごみに対する教育の推進に取り組む。(70 歳以上)

9. 罰則の強化をする（17 件）

- ・ペットボトルのごみをよく見かけるので、ポイ捨てをしたら罰金にしていくことで多少はペットボトルのポイ捨てはなくなると思う。(30 歳代)
- ・ポイ捨てや不法投棄の厳罰化を望む。(40 歳代)
- ・ルールを守らない個人、業者には厳しく罰則を与える。(50 歳代)

10. プラスチックごみの回収できる機会(回収日、場所、種類等)を増やす（16 件）

- ・リサイクルステーションが色々な場所に増えたらもっと便利だと思う。(30 歳代)
- ・プラスチックの回収を燃えるごみと同じ週 2 回にしてほしい。プラスチックの容器はかさばるし、汚れを落としてプラ回収へ回すけど、においがとれず、1 週間置くのがつらい時があるため、燃えるごみへ回してしまうことがある。(50 歳代)
- ・プラスチックの容器包装以外のプラスチックも回収できるようにできないか。(60 歳代)

11. 市内にごみ箱を設置する、ポイ捨て・不法投棄の対策をする（15 件）

- ・街中でごみ箱が少なくなっていたり、自販機の空容器回収ボックスが満杯でずっと放置されていたりして、捨てたい時にすぐに捨てられない環境になっているのも、ポイ捨てなどの要因になっているのではないかと思う。(30 歳代)
- ・イベントなどがあった際にはごみ集積所のこまめなごみ回収と袋交換。(ごみ箱が満タンになるとポイ捨てに繋がるから)(40 歳代)
- ・外出やレジャーの際には必ずごみを持ち帰ってもらうように呼びかける。(60 歳代)

12. プラスチックごみがどのように処理されているのか市民に発信する（14 件）

- ・毎日どれくらいの量のごみが処理されているのか気軽に知りたい。(20 歳代)
- ・リサイクルがどのように進んでいるのかをもっと公開してほしい。(30 歳代)
- ・プラスチックごみがどのようにリサイクル、廃棄処分されているのか市民が知ることも必要だと思う。(50 歳代)

13. レジ袋有料化について再検討をする(レジ袋を無料に戻してほしい、万引き対策にも対応が必要)
(14 件)

- ・コンビニやスーパーなどのビニール袋を無料に戻してほしい。(20 歳代)
- ・ビニール袋有料化によって万引きが増加している問題も同時に取り組まなければならない。(30 歳代)
- ・スーパーの持ち帰り袋の有料化は、あまり意味を感じない。その袋は、家庭の生ゴミを集めて捨てていた。現在は、わざわざ購入している。結果として減っていない。(40 歳代)

14. プラスチック製品に課税やリサイクル回収費用を上乗せし、価格上昇を検討する (13 件)

- ・プラスチック製品を高くすれば、買う人は減る。(40 歳代)
- ・プラスチック商品の料金をあげてもリサイクルの費用を作り、回収したものはその費用を使い全てリサイクルするようにする。(50 歳代)
- ・プラスチック製品課税。(60 歳代)

15. 代替製品の研究開発に予算をとる (12 件)

- ・大学機関で全く基礎研究の予算(化学、生物系)を回さなくなってしまうと、新しい取り組みなど、何も進まないと思う。(30 歳代)
- ・国は、プラスチックに代わる丈夫な素材の研究、開発に力を注ぐこと。(60 歳代)

16. 河川、海岸の清掃活動をする (9 件)

- ・海や川などを定期的に掃除する。(20 歳代)
- ・川や海、海岸、道路など清掃活動をする催しを増やす。(50 歳代)

17. ペットボトルやビン、トレイのデポジット制度の導入 (8 件)

- ・デポジットなどリサイクルした方が得になるようなシステムづくりが大切。(50 歳代)
- ・ペットボトルは有料にして、お店に返却時に返金してもらえる制度にすると、むやみなポイ捨てが減ると思う。ドイツはこのシステムを導入しているので、ペットボトルのポイ捨てがほとんどなかった。(70 歳以上)

18. 取り組みの成果や実績を公表する (7 件)

- ・取り組んだ事で効果がでているのかをもっと教えてほしい。知る事ができるとやりがいがあるように思う。(30 歳代)
- ・一番身近な対策としては店舗での袋が有料になった事であるが、実施後どれだけの効果があったのか、結果が目に見えてこない。どれだけのメリットがあったのか、またデメリットも見えたのか明確にしてほしい。(40 歳代)

19. レジ袋有料化を続ける、レジ袋の値段を上げる（7 件）

- ・スーパーの袋などもっと高くしても良いと思う。(30 歳代)
- ・レジ袋を有料化したことで、マイバッグを持参する人が増えているため、そういうことを積極的にした方がいい。(30 歳代)

20. ごみの分別、廃棄を厳しくする（5 件）

21. 名古屋市のごみ袋を代替素材にする、無料で配布する（5 件）

22. 家庭外でのごみ問題にも対応してほしい（4 件）

23. 焼却処分をする（4 件）

24. マイボトル促進させるアイデアを考案する（3 件）

25. 諸外国の取組みを学ぶ（3 件）

26. NPO 法人と連携をする（2 件）

27. その他

- ・休耕田にとうもろこしを植えるなどの活動を行う
 - ・輸出先へ技術支援をする
 - ・目安箱を設置する
- ◎名古屋市は分別回収がありリサイクルできている
- ◎啓蒙活動は進んでいる
- ◎マイバッグへの理解は進んでいる

【4】社会全体について（21 件）

1. 市民、事業者、行政が協力してプラスチック問題に取り組む（10 件）

- ・ 楽しくプラスチック問題が解決するとは思えない。市民・事業者・行政すべてが手間をかけるべきだと思う。（50 歳代）
- ・ SDGs の考え方に沿って、取り組むべき。市民、事業者、行政と分けているが、事業者、行政も同じく市民のはず。誰かにやらせるというより、皆で協力するという意識が大切。（70 歳以上）
- ・ プラスチックのリサイクルの活動を更に市民、行政、業者に連携が必要。（70 歳以上）

2. プラスチックは適宜必要であり、取組みについては難しい側面もある（8 件）

- ・ 衛生面や利便性を考慮してプラスチック製品が必要な場面もあり、プラスチック製品を排除することで別の問題が発生することもある。（30 歳代）
- ・ 何でもかんでもプラスチックはダメという事ではなく、必要なもの、又は効率がよいと判断できるものは、プラスチックを使用する事も必要だと思う。（50 歳代）

3. プラスチック問題だけではなく、森林問題、コロナ問題など他の問題も考慮して取り組みを行っていくべき（3 件）

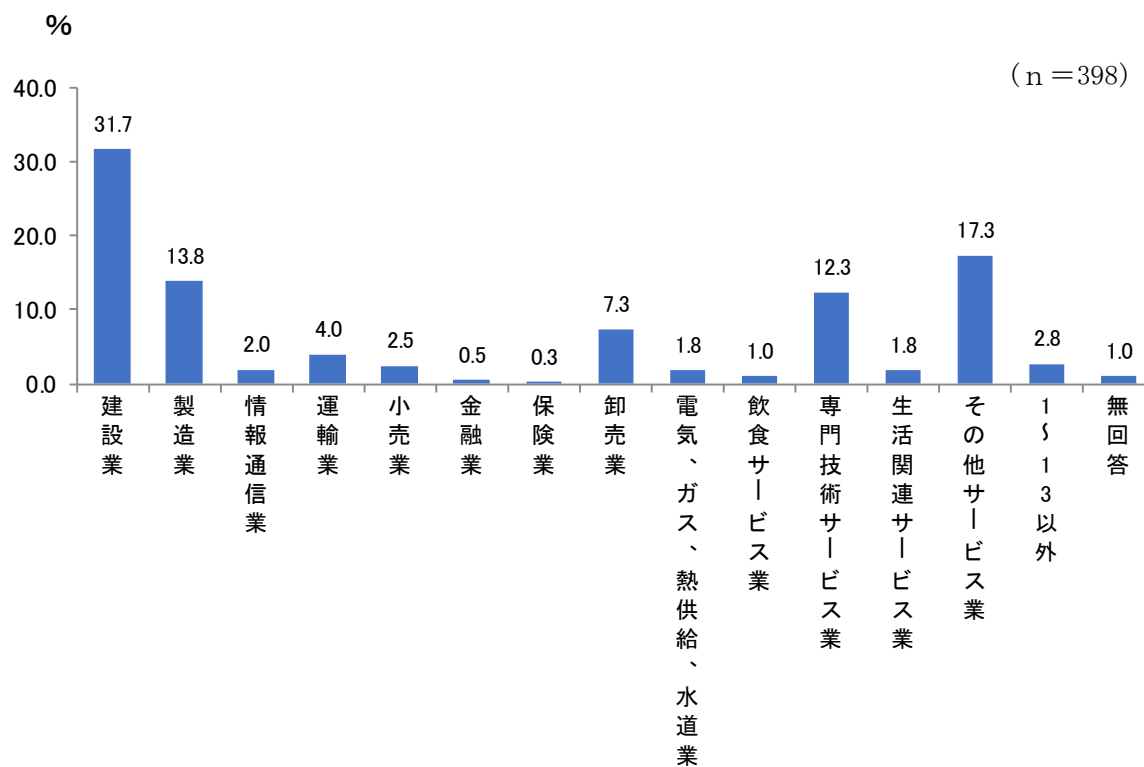
【5】その他（11 件）

- ・ アンケートについて（2 件）
- ・ 時代について（3 件）
- ・ その他（6 件）

Ⅲ 事業者アンケート調査結果

1 回答者の属性

F2 業種について選択してください（その他の場合は14（ ）内にご記入ください）。（○は1つだけ）



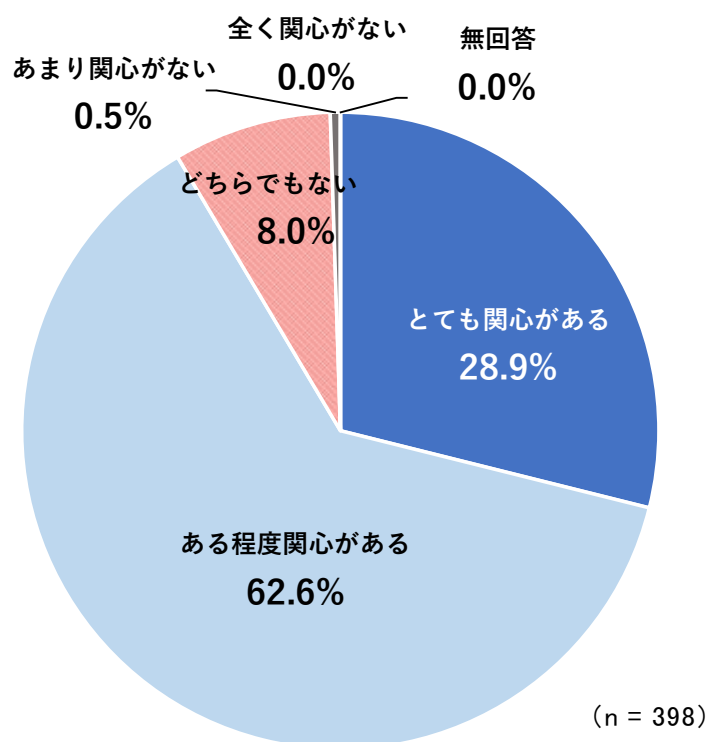
2 調査結果

問1 「プラスチック問題」について関心がありますか。(〇は1つだけ)

【全 体】

プラスチック問題について、「ある程度関心がある」が 62.6%と最も高く、次いで「とても関心がある」が 28.9%、「どちらでもない」が 8.0%となっている。

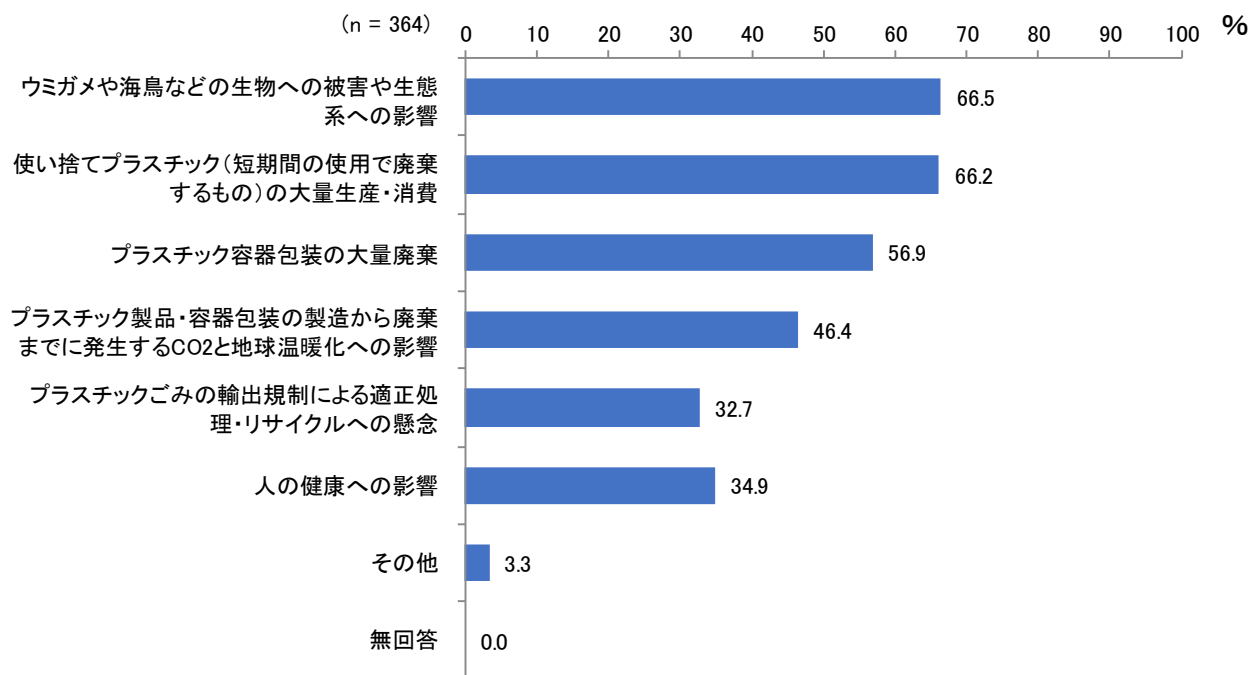
「とても関心がある」(28.9%)と「ある程度関心がある」(62.6%)を合わせた『関心がある』は 91.5%となっている。



問2 <問1で1または2と答えた方におたずねします。>
 「プラスチック問題」のうち関心のある内容は何ですか。(〇はいくつでも)

【全 体】

関心のある内容は、「ウミガメや海鳥などの生物への被害や生態系への影響」が 66.5%と最も高く、次いで、「使い捨てプラスチック（短期間の使用で廃棄するもの）の大量生産・消費」が 66.2%、「プラスチック容器包装の大量廃棄」が 56.9%となっている。



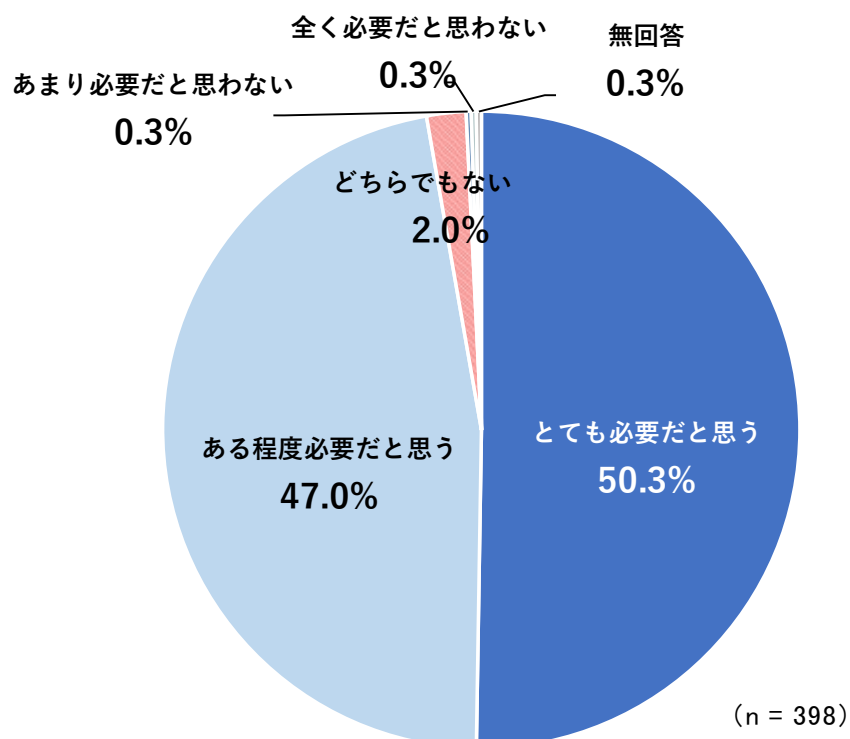
※回答者＝問1で「1 とても関心がある」「2 ある程度関心がある」とお答えの方。

問3 「プラスチック問題」の解決に向けて、市民や行政だけでなく、事業者の取組みが必要だと思いますか。(〇は1つだけ)

【全 体】

事業者の取組みについて、「とても必要だと思う」が50.3%と最も高く、次いで「ある程度必要だと思う」が47.0%、「どちらでもない」が2.0%となっている。

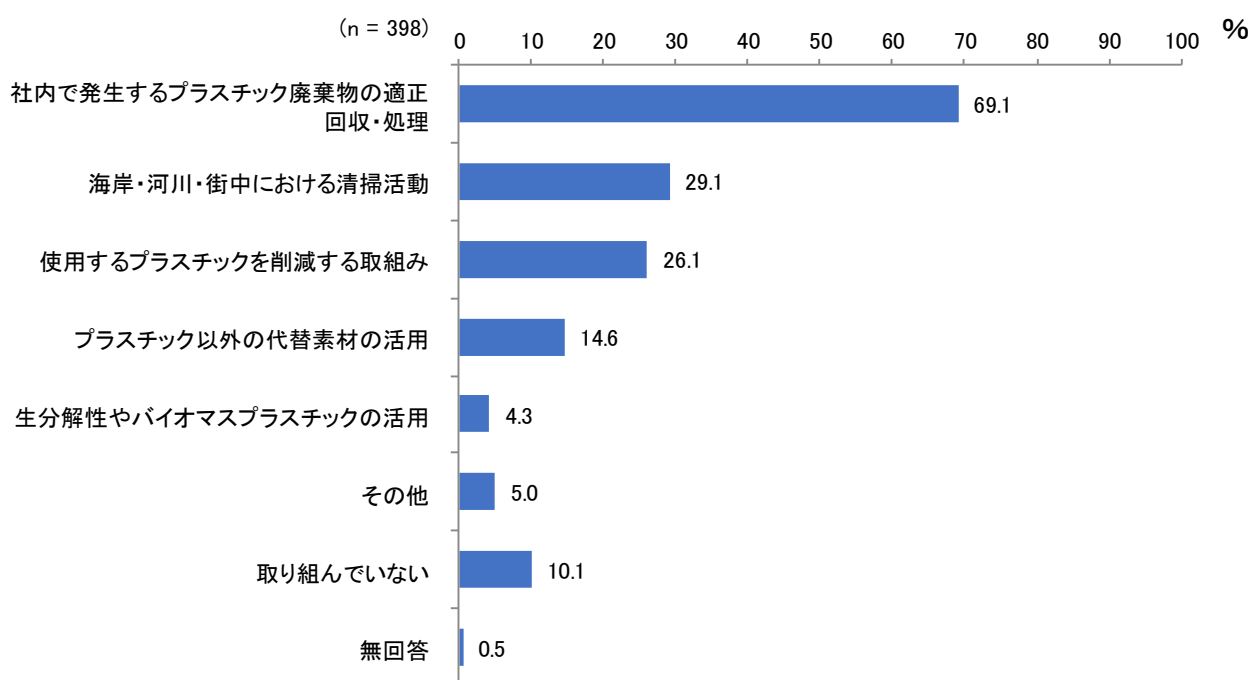
「とても必要だと思う」(50.3%)と「ある程度必要だと思う」(47.0%)を合わせた『必要だと思う』は97.2%となっている。



問4 「プラスチック問題」を意識して取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

【全 体】

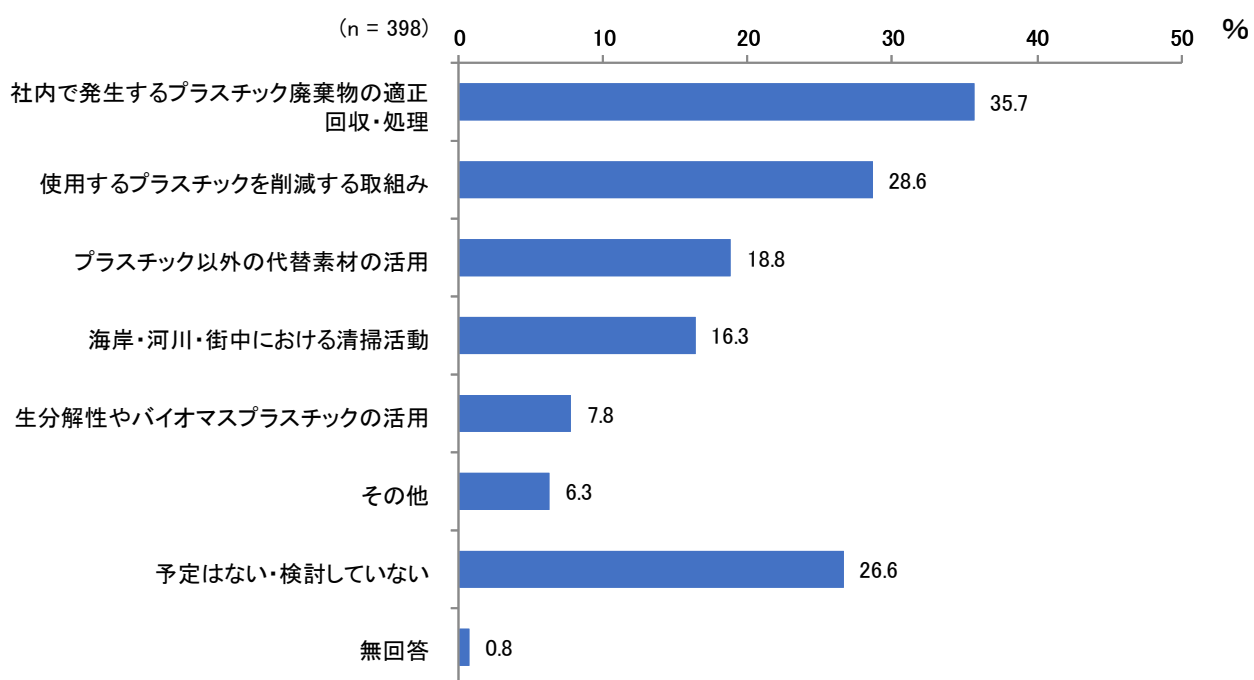
取組みについて、「社内で発生するプラスチック廃棄物の適正回収・処理」が69.1%と最も高く、次いで、「海岸・河川・街中における清掃活動」が29.1%、「使用するプラスチックを削減する取組み」が26.1%となっている。



問5 「プラスチック問題」に対する取組みとして予定あるいは検討していることはありますか。(〇はいくつでも)

【全 体】

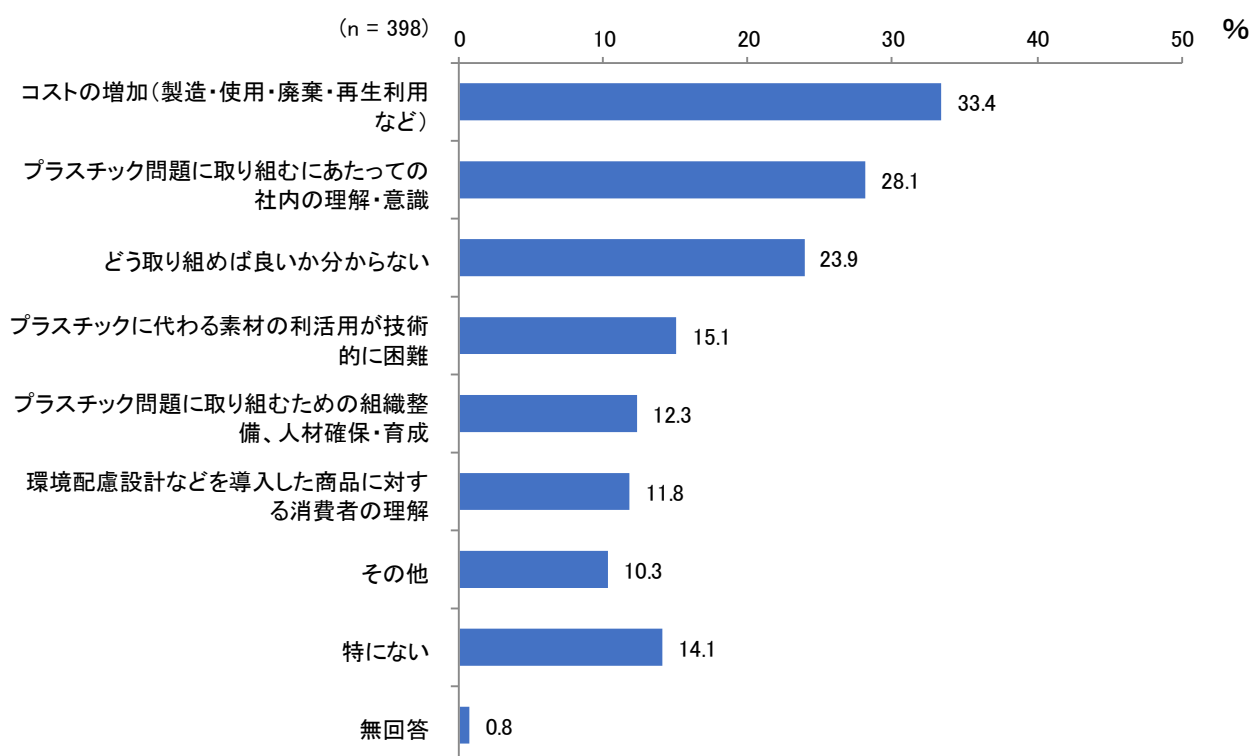
予定あるいは検討していることは、「社内で発生するプラスチック廃棄物の適正回収・処理」が35.7%と最も高く、次いで、「使用するプラスチックを削減する取組み」が28.6%、「予定はない・検討していない」が26.6%となっている。



問6 「プラスチック問題」への対応に関して課題となっていることはありますか。(〇は
いくつでも)

【全 体】

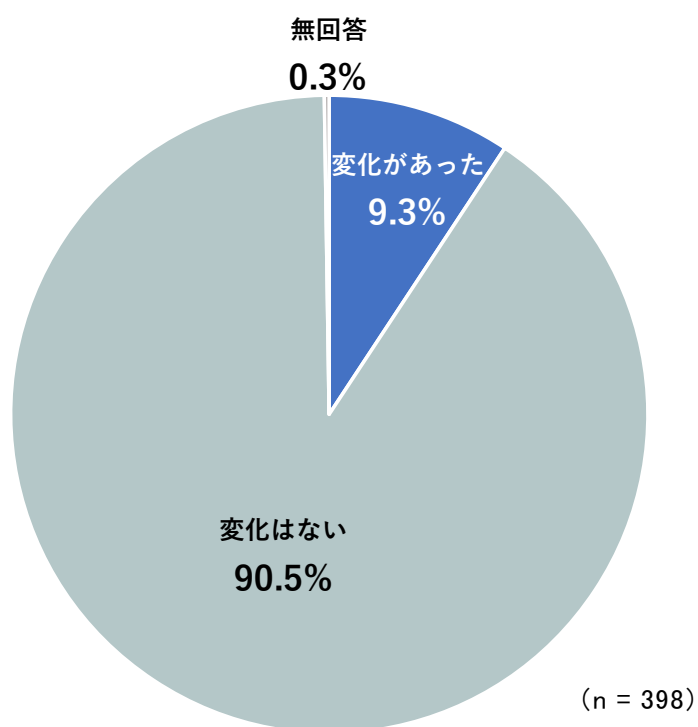
課題は、「コストの増加（製造・使用・廃棄・再生利用など）」が 33.4%と最も高く、次いで、「プラスチック問題に取り組むにあたっての社内の理解・意識」が 28.1%、「どう取り組めば良いか分からない」が 23.9%となっている。



問7 新型コロナウイルス感染症の拡大によって「プラスチック問題」への取組みに変化はありましたか。(〇は1つだけ)

【全 体】

取組みへの変化について、「変化があった」が9.3%、「変化はない」が90.5%となっている。



問8 「プラスチック問題」の解決に向けて、市民、事業者、行政がそれぞれどのように取り組んだ方がいいと考えますか。ご自由にお書きください。

上記の設問について事業者の方にご意見をお聞きしたところ、252 件の回答が得られ、その中で複数の項目に関する意見を分割して整理したため、延べ件数は 529 件となりました。内容を同じくする意見をいくつかの類型に分類し、主な意見として下記の通りに集約しました。内容については、意見の主旨を損なわないように一部要約したものもあります。

【1】市民の取組みについて（110 件）

1. 使い捨てプラスチックを買わない・受け取らない、ごみを減らす工夫をする（25 件）

- ・市民は、可能な限りプラスチックの購入を減らす。（建設業）
- ・市民の立場からすれば、単純にごみになるプラスチック素材の利用を減らすことは可能である。（製造業）

2. ごみの分別ルールを守り、資源回収に協力する（25 件）

- ・市民はなるべく細かい分別をして資源ごみとして出す。（建設業）
- ・分別及びリサイクルへの意識向上。（その他サービス業）

3. 一人ひとりが問題に関心を持ち、意識して取り組みを行っていく（22 件）

- ・プラスチック問題を一人ひとりがもっと身近に考えたほうが良い。（建設業）
- ・消費者は、プラスチック問題をもっと知る必要がある。（専門技術サービス業）

4. 環境配慮商品を選ぶ（11 件）

- ・市民として環境にやさしい製品を選択する。（建設業）
- ・環境配慮型商品を使用していく意識の向上が必要と考える。（製造業）

5. マイバッグ、マイボトルを持参する（10 件）

- ・エコバッグを使用しレジ袋をもらわないようにすること、ペットボトルの商品はなるべくやめてマイボトルを持参するなど小さなことを積み重ねていくこと。（生活関連サービス業）

6. ごみのポイ捨てはせず、外出やレジャーの際には持ち帰る（10 件）

- ・プラスチック含むごみを道、海、川に捨てない。（建設業）
- ・ごみの持ち帰りの徹底。（建設業）

7. プラスチック製品を長く大事に使う（4 件）

8. プラスチック問題に取り組んでいる事業者を支援する（2 件）

9. 清掃活動に参加する（1 件）

【2】事業者の取組みについて（147 件）

1. 安くて安全かつ環境にやさしいプラスチック製品、代替製品の開発（25 件）

- ・地球に負荷がかからないような材料の開発が必要。（製造業）
- ・プラスチックに代わる代替品が、コストも大幅に変わらないものが増える事。（建設業）

2. プラスチック代替製品の利用を推進する（24 件）

- ・プラスチック代替製品の普及。（建設業）
- ・プラスチック製から出る CO2 の問題もあるので、代替品で補えるところは補うべきであると思う。（運輸業）

3. プラスチックの生産・使用を削減する（14 件）

- ・事業者による製造過程での使用削減。（建設業）
- ・安価なプラスチック商品を安易に利用しないようにする。（専門技術サービス業）

4. 社内で発生するプラスチックごみを削減する、分別回収の徹底をする（13 件）

- ・事務所においては、マイカップの導入を行っている。（製造業）
- ・ごみの分別を徹底するのが一番だと考える。（専門技術サービス業）

5. プラスチック廃棄物の適正処理の徹底（13 件）

- ・業務上の廃棄物の分別の徹底。（建設業）
- ・事業者は不要なプラスチックはリサイクル工場などに搬入する。（建設業）

6. 消費者にプラスチック問題を発信、代替製品についてのアピールをする（9 件）

- ・事業者は独自に取り組んでいる環境活動（プラスチック問題以外も含め）があれば、PR していくことも必要であると考え。（建設業）
- ・特に大量に消費される商品を製造している事業者は、分別や環境問題などの啓発活動を積極的に行う。（専門技術サービス業）

7. 過剰包装を見直す（8 件）

- ・事業者は梱包材等の減量努力をする。（建設業）
- ・商品のビニール等の包装の資源ごみが多いので包装が改善されるとだいぶ削減されると思う。（情報通信業）

8. 廃プラスチックの再資源化への取組みをする（8 件）

- ・発生した廃プラスチック類は、適正にリサイクルプラントに搬入し、再資源化を促進する。（建設業）
- ・廃プラスチックを固形燃料や各種器材等へリサイクルしている。（製造業）

9. リサイクル、リユースしやすい商品の開発や仕組みを整える（7 件）

- ・販売する商品の適性処理方法を明示する。（製造業）
- ・資源循環を考慮した製品づくりを行う。（卸売業）

10. プラスチック容器（食品トレイ、テイクアウト容器等）を削減する（7 件）

- ・スーパーマーケットではレジ袋以外のポリ袋が多く使用されている。（専門技術サービス業）
- ・食品について特に過剰包装が見受けられる。（専門技術サービス業）

11. 事業者と行政が連携してプラスチックごみの削減、回収、再利用に努める（4 件）

12. プラスチックの処理方法の開発（3 件）

13. 目標設定と実践（3 件）

14. 事業者全体でプラスチック問題を意識する（3 件）

15. 清掃活動に取り組む（2 件）

16. ストロウの有料化を検討する（1 件）

17. 少量でも利用しやすい代替製品の流通（1 件）

18. 日本の天然素材を活用した商品を世界に向けて発信する。（1 件）

19. 安価な使い捨てしやすい商品を減らす。（1 件）

【3】行政の取組みについて（244 件）

1. 市民・事業者にプラスチック問題の啓発活動、情報発信を行う（54 件）

- ・市民及び事業者への、プラスチック問題の周知徹底が必要と考える。（建設業）
- ・環境問題への取り組みを呼びかけるためのポスターを掲示するなど、市民が環境に配慮した行動ができるよう啓発を行う。（その他サービス業）

2. 事業者に対してプラスチック問題取組みへの支援、補助、助成をする（削減、代替製品の開発・利用等）（41 件）

- ・プラスチック問題へ積極的に関与している企業などを対象とした補助金や税制上などの優遇措置があれば、プラスチック問題への取り組みが進むと思われる。（建設業）
- ・再生利用や新原料の開発に補助を行う。（製造業）

3. プラスチックごみの分別回収・処理・再利用を徹底する、リサイクル活動を推進する（28 件）

- ・行政は分別回収したプラスチックの再生に心がける。（建設業）
- ・不当廃棄されたプラスチック廃棄物の回収・処理。（卸売業）

4. 行政がリードして、プラスチック問題に積極的に取り組む、効果的な仕組み作りをする（25 件）

- ・活動している市民団体等と事業者を結ぶパイプ役として行政に期待する。（卸売業）
- ・行政が基準を示して、市民、事業者が取り組む。（金融業）

5. プラスチックの製造や販売・使用への法的規制、削減に向けた指導や法整備をする（12 件）

- ・プラスチックを確実に回収するシステム、法整備が重要。（その他サービス業）
- ・法令遵守を前提とした法令施行をし、事業者・市民が一体となってプラスチックの使用削減に取り組むような流れが良いかと考える。（その他サービス業）

6. 市民・事業者にリサイクルや分別方法の周知をする（9 件）

- ・適正な具体的廃棄方法を市民および事業者へ周知する。（建設業）
- ・何がプラスチックごみなのか、プラスチックごみをどう処分すれば良いのかの判断ができない場合があるので、行政はそういった区分けをしっかりと市民等に周知することが大切。（専門技術サービス業）

7. 罰則の強化をする（9 件）

- ・過度な違反者には罰則規定を設けること。（建設業）
- ・不法投棄の取り締まり。（建設業）

8. プラスチック問題に取り組む企業の表彰や取組み好事例の紹介をする（8件）

- ・取組み事例の表彰、広報等。（情報通信業）
- ・リサイクルに貢献している会社・団体に対して表彰するなどインセンティブと取組み事例紹介を通じた、水平展開も必要と考える。（運輸業）

9. 代替品利用促進を図る（6件）

- ・再生利用可能な商品の推奨をしていくべき。（建設業）
- ・プラスチックに代わる製品の利用促進のための措置。（その他サービス業）

10. 学校等で子どもたちへの教育を推進する（5件）

11. マイバッグやマイボトルの推奨など、使い捨てプラスチック削減を図る（5件）

12. ポイ捨て、不法投棄の対策をする（5件）

13. 協力してくれた市民に特典やポイント等で還元できる仕組み作り（5件）

14. イベントの開催やキャンペーン活動をする（4件）

15. 焼却によるサーマルリサイクルの推進（3件）

16. 取り組みの成果や実績を公表する（2件）

17. その他（23件）

【4】社会全体について（21 件）

1. 市民、事業者、行政が協力してプラスチック問題に取り組む（16 件）

- ・市民、事業者、行政が別々ではなく、一貫の流れとなって一体化して取り組んだ方がいいと考えている。市民からの活動がスタートで、それに対して、事業者が係る、アシスト、スポンサー等を行い、行政が認可して、イベントやシステムを構築する。（製造業）
- ・市民、事業者、行政すべてが同じ意識を持たないと脱プラスチックは進まないと思う。みんなが同じ方向を向いて、やれる事からやっていく。（専門技術サービス業）

2. プラスチックは適宜必要であり、取組みについては難しい側面もある（5 件）

- ・レジ袋有料化やプラスチックストロー廃止などをきっかけにプラスチック問題についての理解はしつつも、簡単・便利・使い捨てなどを理由にその解決のための行動までは起こせていない人が多いように感じている。（卸売業）
- ・例えば、プラのストローなどは分別すればリサイクル可能だが、紙ストローはおそらく焼却され、灰は埋立処分されることになる。どちらがいい方法なのかよく考える必要がある。（その他サービス業）

【5】その他（7 件）

- ・特になし（7 件）

IV 資料（調査票）

なごやしやくしよ しみん
名古屋市役所から市民のみなさまへ

もんだい かん しみん
プラスチック問題に関する市民アンケート

ちょうさきかん れいわ ねん がつ にち きん
調査期間：令和3年9月17日（金）～10月8日（金）

ちょうさ しゅし きょうりよく ねが
＜調査の趣旨とご協力をお願い＞

ひ せい りかい きょうりよく まこと
日ごろは、市政にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

なごやし きんねん せかいてき もんだい もんだい かいけつ きょうせい
名古屋市は、近年、世界的に問題となっている「プラスチック問題」の解決には、行政
だけでなく、市民・事業者の皆様の取り組みが不可欠であると考えており、取り組む際
のよりどころとなる指針の策定を進めているところです。

ししん さくてい しみん みなさま いしき こうどう かん げんじょう かくにん
この指針を策定するにあたっては、市民の皆様の意識や行動に関する現状を確認し、
こんご てんかい けんとう さんこう かんが
今後の展開を検討するための参考とさせていただきたいと考えています。

しな い す かた にん むさく い えら ひとり
市内にお住まいの方2,000人を無作為に選ばせていただき、そのお一人としてあなた
さま かいとう ねが
様に回答をお願いすることになりました。

とつぜん ねが まこと きょうしゅく しゅし りかい きょうりよく
突然のお願いで誠に恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力
ねが
くださいますようお願いいたします。

と あ さき
▼ お問い合わせ先

ふめい てん てすう か き と あ
ご不明な点がございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

かん
●アンケートに関すること

なごやし かんきょうきょくげんりょうすいしんしつ たんとう
名古屋市環境局減量推進室 担当：川浦（かわうら）、平田（ひらた）

でんわ ちょうつう
電話：（052）972-2398（直通） FAX：（052）972-4133

※ おうたいじかん げつようび きんようび ごぜん じ ふん ごご じ ふん
応対時間は、月曜日から金曜日の午前8時45分から午後5時30分までとさせていた
だきますので、ご了承ください（祝日を除く）。

<アンケートについて>

- ◆ このアンケートは、封筒の宛名のご本人様がご回答ください。
 （ご本人様が書けない場合は、身近な方がご本人様の意見を聞いてご記入ください。）
- ◆ このアンケートは、以下の①か②の方法でご回答をお願いします。
 ① 返信用封筒で回答
 ② 下記のURLもしくは、右記のQRコードを読み取り、インターネット上のアンケートサイト（名古屋市作成）から回答
 （URL）<https://logoform.jp/form/mX9C/28716>
- ◆ アンケート及び返信用封筒に、ご住所やお名前を書く必要はありません。
- ◆ 回答の結果は、統計的な数値として集計する以外には使用せず、個人のお名前や回答内容、調査対象者名簿が外部に漏れることは決してありません。
 ご自身の率直なご意見などをご記入ください。
- ◆ アンケートは、10月8日（金）までにご回答ください。返信用封筒に切手を貼る必要はありませんが、アンケートサイトからご回答の場合はインターネット接続にかかる費用をご負担いただきます。

QRコード



<記入の方法>

ご回答は、該当する選択肢番号に「○印」をつけるか、具体的な内容をご記入ください。ご記入には、鉛筆やボールペンなど、どのような筆記具でも構いません。

《記入例》

問1 プラスチックごみによる海洋汚染を始めとした「プラスチック問題」について
 知っていましたか。（○は1つだけ）

- 1 言葉も内容も知っていた
- ② 言葉は知っていたが、内容はよく知らなかった
- 3 知らなかった

＜プラスチック問題＞^{もんだい}

プラスチックは、^{けいりょう}軽^{じょうぶ}量^{かこう}で丈夫、加工もしやすいことから、さまざまな^{せいひん}製品^{ようき}や容器^{ほうそう}包装^{はばひろ}などが幅広く利用され、^{わたし}私^くたちの暮らしを支えています。^{ささ}

プラスチックの中でも^{なか}最^{もっと}も多く生産されているのがプラスチック容器包装^{ようきほうそう}であり、日本は、^{にほん}一人^{ひとり}あたりのプラスチック容器包装^{ようきほうそう}の年間廃棄量^{ねんかんはいきりよう}がアメリカに次い^つで世界で二番目に多い国と言われています。^{せかい}

利便性^{りべんせい}の高い一方で、自然界^{たか}で分解^{いっぼう}されにくい特^{しぜんかい}徴^{ぶんかい}があることから、不法投棄^{とくちょう}やポイ捨て^{ふほうとうき}によって河川^すなどを通じて海^{かせん}にたどり着き、海洋汚染^{つう}につながっていま^{うみ}す。^つ

鼻^{はな}にストロー^さが刺^{たいりよう}さったウミガメやプラスチックごみを大^の量^こに飲み込んだこと^がで餓死^{がし}したクジラなど海^{うみ}の生き物^いへの被害^{もの}が出ているほか、プラスチックが有害^{ひがい}物質^でを吸^{ゆうがい}着^{ぶっしつ}し、魚^{きゅうちやく}や鳥^{さかな}などが体内^{とり}に取り込むことによる影^{たいない}響^とが懸念^こされています。^{えいきよう}

毎年^{まいとし}、500万^{まん}から1,300万^{まん}トンものプラスチックが海洋^{かいよう}に流^{りゅう}出^{しゅつ}しているという推計^{すいけい}があり、このままのペースだと2050年^{ねん}までに海^{かい}洋^{よう}中^{ちゅう}のプラステックごみの重^{じゅうりよう}量^{さかな}が魚^{じゅうりよう}の重^{うわまわ}量^{しさん}を上回^{ほうこく}るとの試算も報告されています。

プラスチックは再生利用^{さいせいりよう}が可能な素材^{かのう}ですが、金属^{そざい}などの他^{きんぞく}素材^たと比べると再生利用^{さいせいりよう}される割合^{わりあい}は低い状^{ひく}況^{じょうきよう}にあり、焼^{しょうきやく}却^{ばあい}した場合^{ちきゅうおんだんか}、地球温暖化^{よういん}の要因^{おんしつこうか}である温室効果ガス^{はいしゅつ}が排^は出^{しゅつ}されます。

また、これまで主に途上国^{おも}へプラスチック廃棄物^{とじょうこく}が輸出^{はいきぶつ}されてきましたが、2021年^{ゆしゅつ}からバーゼル条^{ねん}約^{じょうやく}によりプラスチック廃棄物^{はいきぶつ}の輸出^{ゆしゅつ}が規制^{きせい}されたことで、国内^{こくない}での適正な資源循環^{てきせい}を行^{しげんじゅんかん}う必要^{おこな}性^{ひつようせい}が高まっています。^{たか}

このようにプラスチックは様々な環^{さまざま}境^{かんきよう}問題^{もんだい}につながっているため、総合的^{そうごうてき}な視^{してん}点^とのもとでの取組^{とりく}みが必要^{ひつよう}です。

問1 プラスチックごみによる^{かいようおせん}海洋汚染^{はじ}を始めとした「プラスチック問題」^{もんだい}について知っていましたか。(○は1つだけ)

- 1 言葉^{ことば}も内容^{ないよう}も知^しっていた
- 2 言葉^{ことば}は知^しっていたが、内容^{ないよう}はよく知^しらなかった
- 3 知^しらなかった

問2 「プラスチック問題」について関心がありますか。(○は1つだけ)

- 1 とても^{かんしん} 関心がある
- 2 ある程度^{ていどかんしん} 関心がある
- 3 どちらでもない
- 4 あまり^{かんしん} 関心がない
- 5 まったく^{かんしん} 関心がない

<問2で1または2と答えた方におたずねします。>

問3 「プラスチック問題」のうち関心のある内容は何か。(○はいくつでも)

- 1 使い捨てプラスチック（短期間の使用で廃棄するもの）の大量生産・消費
- 2 プラスチック容器包装の大量廃棄
- 3 プラスチックごみの輸出規制による適正処理・リサイクルへの懸念
- 4 プラスチック製品・容器包装の製造から廃棄までに発生する CO2 と地球温暖化への影響
- 5 ウミガメや海鳥などの生物への被害や生態系への影響
- 6 人の健康への影響
- 7 その他（ ）

問4 「プラスチック問題」の解決に向けて、事業者や行政だけでなく、わたしたちひとりひとりの取り組みが必要だと思いますか。（○は1つだけ）

- 1 とても必要だと思う
- 2 ある程度必要だと思う
- 3 どちらでもない
- 4 あまり必要だと思わない
- 5 まったく必要だと思わない

問5 「プラスチック問題」を意識して取り組んでいることはありますか。（○はいくつでも）

- 1 外出時に「マイバッグ」を持参している
- 2 外出時に「マイボトル」を持参している
- 3 お店から提供される使い捨てのスプーンやフォークなどの受け取りを断っている
- 4 プラスチック製品を長く大事に使っている
- 5 詰め替え商品等を選んでいる
- 6 プラスチックの代替素材を活用した商品等を選んでいる
- 7 プラスチックごみのポイ捨てをしない
- 8 外出やレジャーの際には、ごみを持ち帰っている
- 9 資源やごみの分別や出し方のルールを守っている
- 10 市民団体や地域団体等が主催する清掃活動に参加している
- 11 その他（ ）
- 12 特にない

問6 「プラスチック問題」を意識して、今後、取り組みたいことはありますか。

（○はいくつでも）

- 1 外出時に「マイバッグ」を持参する
- 2 外出時に「マイボトル」を持参する
- 3 お店から提供される使い捨てのスプーンやフォークなどの受け取りを断る
- 4 プラスチック製品を長く大事に使う
- 5 詰め替え商品等を選ぶ
- 6 プラスチックの代替素材を活用した商品等を選ぶ
- 7 プラスチックごみのポイ捨てをしない
- 8 外出やレジャーの際には、ごみを持ち帰る
- 9 資源やごみの分別や出し方のルールを守る
- 10 市民団体や地域団体等が主催する清掃活動に参加する
- 11 その他（ ）
- 12 特にない

問7 どういう理由があれば「プラスチック問題」を意識した商品を選びますか。

（○はいくつでも）

- 1 価格が安いこと
- 2 品質に問題がないこと
- 3 手間がかからないこと
- 4 商品を見てプラスチック問題に取り組んでいることが分かること
- 5 プラスチック問題への対策に積極的な事業者の商品であること
- 6 その他（ ）

問8 ^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんしょう}感染症が^{かくだい}拡大する^{まえ}前と^{くら}比べて、^{せいひん}プラスチック製品や^{ようきほうそう}容器包装^{つか}を使う^{きかい}機会^ふが増え^ふましたか。（○は1つだけ）

- 1 ^ふ増えた
- 2 ^か変わらない
- 3 ^へ減った
- 4 ^わ分からない

＜問8で1と答えた方におたずねします。＞

問9 ^{せいひん}どんな製品や^{ようきほうそう}容器包装^{つか}を使う^{きかい}機会^ふが増え^ふましたか。（○はいくつでも）

- 1 ^{いんしょくぶつ}飲食物の^{つか}テイクアウトなどで^{ようきほうそう}使う容器包装
- 2 ^{いんしょくぶつ}飲食物の^{つか}テイクアウトなどでも^すもらうスプーンなどの^{せいひん}使い捨て製品
- 3 ^{りょうり}料理で^{つか}使う食^{しょくざい}材や食^{しょくひん}品（^{れいとう}冷凍、^{かし}レトルト、^{ようきほうそう}お菓子など）の容器包装
- 4 ^{かんせんよぼう}マスクやアルコールなどの^{せいひん}感染予防のための製品・^{ようきほうそう}容器包装
- 5 その他（^た ）

問10 ^{もんだい}「プラスチック問題」の^{かいけつ}解決に向けて、^{しみん}市民・^{じぎょうしゃ}事業者・^{ぎょうせい}行政がそれぞれ^{とく}どのように^く取り組んだ^{ほう}方がいいと^{かんが}考^{じゆう}え^かえますか。ご自由にお書きください。

アンケートを統計的に分析するため、あなたご自身について
 おうかがいします。

F 1 あなたの年代は（○は1つだけ）

- | | | | | | | | |
|---|--------------|---|--------------|---|--------------|---|-----------------|
| 1 | さいだい
10歳代 | 3 | さいだい
30歳代 | 5 | さいだい
50歳代 | 7 | さいいじょう
70歳以上 |
| 2 | さいだい
20歳代 | 4 | さいだい
40歳代 | 6 | さいだい
60歳代 | | |

F 2 あなたのご職業は（○は1つだけ）

- | | | | |
|---|--------------------------------|---|-----------------------------|
| 1 | かいしゃいん こうむいん
会社員・公務員（フルタイム） | 5 | がくせい
学生 |
| 2 | じえい じゆうぎょう
自営・自由業 | 6 | むしょく ていねんご ふく
無職（定年後も含む） |
| 3 | はけん ふく
アルバイト・パート（派遣も含む） | 7 | た
その他（ ） |
| 4 | か じ せんぎょう
家事専業 | | |

F 3 お住まいの区は（○は1つだけ）

- | | | | | | | | |
|---|-------------|---|--------------|----|--------------|----|--------------|
| 1 | ちくさく
千種区 | 5 | なかむらく
中村区 | 9 | あつたく
熱田区 | 13 | もりやまく
守山区 |
| 2 | ひがしく
東区 | 6 | なか
中区 | 10 | なかがわく
中川区 | 14 | みどりく
緑区 |
| 3 | きたく
北区 | 7 | しょうわく
昭和区 | 11 | みなとく
港区 | 15 | めいとうく
名東区 |
| 4 | にしく
西区 | 8 | みずほく
瑞穂区 | 12 | みなみく
南区 | 16 | てんぱくく
天白区 |

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。



プラスチック問題に関する事業者アンケート

調査期間：令和3年9月13日（月）～10月1日（金）

1 アンケートについて

◆ 回答期限

このアンケートは、**10月1日（金）**までに電子メールにてご回答ください。

※令和4年7月実施のアンケートは同一内容のため省略

【回答先】

- ・（調査業務受託事業者）
〒500-8333 岐阜県岐阜市此花町6丁目8番地
株式会社中部タイム・エージェンツ
- ・ pla-research@timeagent.co.jp までこのファイルを添付し返信して下さい。
- ・ Faxで返信頂く場合は、058-255-2631 までお送り下さい。

◆ 回答に当たって

- ・ 回答の結果は、統計的な数値として集計する以外には使用せず、事業者名や回答内容が外部に漏れることは決してありません。なお、個別に取組内容をお伺いし、名古屋市が策定予定の指針への掲載についてご相談させていただくことがあります。

2 記入方法

- ・ ご回答は、該当する選択肢番号に「○印」をつけるか、具体的な内容をご記入ください。

《記入例》

問1 「プラスチック問題」について関心がありますか。

↓ [一つだけ○]

☐	1 とても関心がある
☐	2 ある程度関心がある
☐	3 どちらでもない
☐	4 あまり関心がない
☐	5 全く関心がない

<プラスチック問題>

プラスチックの生産量は世界的に増大し、生産量の増大に伴い廃棄量も増えていると言われており、現状のペースでは、2050年までに250億トンのプラスチック廃棄物が発生し、120億トン以上のプラスチックが埋立・自然投棄されると予測されており、地球規模での環境汚染や限りある天然資源の浪費などが問題となっています。

毎年500万から1,300万トンものプラスチックが海洋に流出していると推計されており、2050年までに海洋中に存在するプラスチックごみの重量が魚の重量を超過するとの試算も報告されています。

自然環境中で細かく碎かれることなどにより、5mm以下となったプラスチックはマイクロプラスチックと呼ばれ、有害物質を吸着し、魚や鳥などが体内に取り込むことによる影響が懸念されています。

また、これまで主に先進国から途上国へプラスチック廃棄物が輸出されてきましたが、2021年からバーゼル条約により規制されることになり、国内で適正な資源循環を行う必要性が高まっています。

プラスチックの問題は、このような生物多様性や資源循環の問題だけでなく、焼却されることにより地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出するなど、様々な環境問題につながっているため、総合的な視点のもとでの取組が必要です。

問1 「プラスチック問題」について関心がありますか。

↓[一つだけ○]

☐	1 とても関心がある
☐	2 ある程度関心がある
☐	3 どちらでもない
☐	4 あまり関心がない
☐	5 全く関心がない

問1で1または2と答えられた方におたずねします。

問2 「プラスチック問題」のうち関心のある内容は何か。

↓<○はいくつでも>

☐	1 使い捨てプラスチック（短期間の使用で廃棄するもの）の大量生産・消費
☐	2 プラスチック容器包装の大量廃棄
☐	3 プラスチックごみの輸出規制による適正処理・リサイクルへの懸念
☐	4 プラスチック製品・容器包装の製造から廃棄までに発生するCO2と地球温暖化への影響
☐	5 ウミガメや海鳥などの生物への被害や生態系への影響
☐	6 人の健康への影響
☐	7 その他（ ）

問3 「プラスチック問題」の解決に向けて、市民や行政だけでなく、事業者の取り組みが必要だと思いますか。

↓[一つだけ○]

☐	1 とても必要だと思う
☐	2 ある程度必要だと思う
☐	3 どちらでもない
☐	4 あまり必要だと思わない
☐	5 全く必要だと思わない

問4 「プラスチック問題」を意識して取り組んでいることはありますか。

※ 1～6を選んだ場合は取組みの概要、7を選んだ場合は理由を以下の【記述欄】にご記入ください。

↓＜〇はいくつでも＞

☐	1 使用するプラスチックを削減する取組み
☐	2 プラスチック以外の代替素材の活用
☐	3 生分解性やバイオマスプラスチックの活用
☐	4 社内で発生するプラスチック廃棄物の適正回収・処理
☐	5 海岸・河川・街中における清掃活動
☐	6 その他
☐	7 取り組んでいない

【記述欄】

--

問5 「プラスチック問題」に対する取組みとして予定あるいは検討していることはありますか。

※ 1～6を選んだ場合は取組みの概要、7を選んだ場合は理由を以下の【記述欄】にご記入ください。

↓＜〇はいくつでも＞

☐	1 使用するプラスチックを削減する取組み
☐	2 プラスチック以外の代替素材の活用
☐	3 生分解性やバイオマスプラスチックの活用
☐	4 社内で発生するプラスチック廃棄物の適正回収・処理
☐	5 海岸・河川・街中における清掃活動
☐	6 その他
☐	7 予定はない・検討していない

【記述欄】

--

問6 「プラスチック問題」への対応に関して課題となっていることはありますか。

※ 7を選んだ場合は課題の概要を以下の【記述欄】にご記入ください。

↓＜〇はいくつでも＞

☐	1 どう取り組みれば良いか分からない
☐	2 コストの増加（製造・使用・廃棄・再生利用など）
☐	3 プラスチックに代わる素材の利活用が技術的に困難
☐	4 環境配慮設計などを導入した商品に対する消費者の理解
☐	5 プラスチック問題に取り組むための組織整備、人材確保・育成
☐	6 プラスチック問題に取り組むにあたっての社内の理解・意識
☐	7 その他
☐	8 特になし

→【記述欄】

--

問7 新型コロナウイルス感染症の拡大によって「プラスチック問題」への取組みに変化はありましたか。

※ 1を選んだ場合はどのように変わったか以下の【記述欄】にご記入ください

↓〔一つだけ〇〕

☐	1 変化があった
☐	2 変化はない

→【記述欄】

--

- 問8 「プラスチック問題」の解決に向けて、市民、事業者、行政がそれぞれどのように取り組んだ方がいいと考えますか。ご自由にお書きください。

--

最後に、貴社の社名等についてお尋ねします。

- F1 社名についてご記入ください。

--

- F2 業種について選択してください（その他の場合は14（ ）内にご記入ください）。

↓[一つだけ○]

☐	1 建設業	☐	8 卸売業
☐	2 製造業	☐	9 電気、ガス、熱供給、水道業
☐	3 情報通信業	☐	10 飲食サービス業
☐	4 運輸業	☐	11 専門技術サービス業
☐	5 小売業	☐	12 生活関連サービス業
☐	6 金融業	☐	13 その他サービス業
☐	7 保険業	☐	14 1～13以外 （ ）

- F3 本市の指針策定を目的に、御社の取組内容等について別途お尋ねしたい場合、ご協力いただけますでしょうか。ご協力の可否について選択してください。

↓[どちらかに○]

☐	1 協力できる
☐	2 協力できない

→【ご協力いただける場合は、連絡先等を記入してください】

担当部署名	
担当者役職	
担当者名	
電話番号	
メールアドレス	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。